

2016 年度（平成 28 年度）  
学生による授業評価アンケート  
実施報告書

福山大学 大学教育センター  
教育開発部門

## 目 次

はじめに	1
1. アンケート調査の目的	2
2. アンケート調査の概要	2
3. 調査結果	33
(1) アンケート調査実施状況について	33
(2) 調査結果の内容 (学生による授業評価結果について)	33
① 授業の進め方について	33
② 話し方について	34
③ 授業の計画性について	35
④ 授業時間について	36
⑤ 講義の工夫について	36
⑥ 質問への誠意について	37
⑦ 難易度の適切性について	38
⑧ 講義の満足度について	39
(3) 調査結果の内容 (学生の自己点検)	39
① 授業の準備について	39
② 集中力について	40
③ 出席状況について	41
④ 知識の深まりについて	42
⑤ 受講時の工夫について	43
⑥ 質問への積極性について	43
⑦ 意欲の高まりについて	44
⑧ 学習の成果について	45
4. アンケート結果に対する学科報告書	46

はじめに

福山大学は、次の6つを教育目標として掲げ、この目標を達成するべく、日々、教育の改革と改善に取り組んでいる。

福山大学教育目標

- 1) 真理の探究と道理の実践
- 2) 豊かな品性と強い意志の涵養
- 3) 生命と自然の尊重
- 4) 個性の発揮と信頼に基づく人間関係の構築
- 5) 可能性への挑戦
- 6) 地域社会の発展への貢献

教育とは、学修者の行動に価値ある変化をもたらすプロセスであり、「何を教えたか？」ではなく、「学修者が、何ができるようになったか？」が問われる。通常、教育者は、教育の効果を試験の結果、すなわち学修成果として認識し把握している。この学修成果に対する価値判断をもとにして、教員は自己の教育の改善に取り組んでいる。

しかしながら、真に教育を改善するためには、学修者からの忌憚のないフィードバックを得ることは必要不可欠である。このため福山大学では、自己評価委員会が平成16年度に実施して以来、本学のすべての教員が少なくとも1年に1度、学生による授業評価を受けている。平成23年度より大学教育センターが担当することになり、学生による授業評価だけでなく学生自身の学修の点検も加えたアンケート調査を実施している。

平成28年度も、大学教育センター教育開発部門が「学生による授業評価アンケート」を実施した。特に、平成28年度の授業評価アンケートからは、本学のLMSであるCerezoを用いて実施する体制を構築した。このアンケート調査結果が、教員と学生がそれぞれの目標とする教育と学修の成果向上の機会となることを願っている。

平成29年3月31日  
大学教育センター  
センター長 大塚 豊  
教育開発部門  
部門長 田村 豊

## 1. アンケート調査の目的

学生が主体的に学ぶ授業の展開を目指して、学生が授業をどのように受講し、授業に期待していることを教員が理解し、各教員の授業改善に資するために本アンケートを実施する。また、全学的な教育改革の成果を検討する貴重な資料とする。さらに、学生が自己評価し、自身の学修姿勢を点検して改善に役立てるために本アンケート調査を実施する。

## 2. アンケート調査の概要

### (1) 実施期間

アンケート調査結果を学生にフィードバックする期間を確保するため、それぞれ第10回目～11回目の授業時間の一部を利用して実施した。

前期：平成28年6月15日（水）～7月9日（土）

後期：平成28年11月28日（月）～平成29年1月19日（木）

### (2) 調査科目の選定

原則として、本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1人当たり前期2科目、後期2科目について調査対象とすることにした。また、アンケート実施科目として受講者数の多い科目2科目を選定した。この結果、前期417科目（受講者数延べ26,328名）、後期418科目（受講者数延べ25,990名）を対象に調査を行った。具体的な調査科目については、p.4～p.25に示した。

### (3) アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、前期には授業評価に関する8項目、学生自身の学修点検に関する8項目、合計16項目とした（p.26～P.31参照）。後期には、前期の実施結果を踏まえ、質問項目の調整を行い、授業評価に関する8項目、学生自身の学修点検に関する7項目、合計15項目に変更した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

### (4) 調査結果の集計

アンケート調査の集計作業は共同利用センターの片桐重和助教が担当した。集計後、各回答数に係数（強く肯定する回答には5、強く否定する回答には1）を乗じ全回答数で除すことで、5段階評価した。強く否定する回答にも係数1を与えているため、最高値は5.0、最低値は1.0、標準値は3.0となる。

### (5) 学生へのフィードバック方法

前期および後期授業のそれぞれ最終回（15回目）および試験期間中にアンケート調査結果とその対応を学生にフィードバックした。方法は学科に一任した。

(6) アンケート実施後の教員による報告書提出

授業担当教員に集計結果返却後、1ヶ月以内に報告書（p.32の報告書書式を参照）を学科長に提出し、学科長は学科教員の報告書を取りまとめて大学教育センター長に提出した。

(7) アンケート実施後の学科による総括

年度末に前期および後期の調査結果を踏まえて学科単位で総括し、学科長から大学教育センター長に提出した。

平成 28 年度（前期）授業アンケート実施科目一覧

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済	経済	伊藤 祐一	非常勤講師	情報処理基礎	1118013F	水	1時限	40
経済	経済	伊藤 祐一	非常勤講師	情報処理基礎	1118014F	水	2時限	41
経済	経済	井上 矩之	非常勤講師	流通システム	1250520F	木	2時限	14
経済	経済	井本 伸	非常勤講師	経済統計学 I	1220742F	火	2時限	17
経済	経済	亀岡 章	非常勤講師	不動産・相続応用 I	1230610F	火	4時限	8
経済	経済	吉田 卓史	准教授	スポーツ生理学	1240070F	木	3時限	120
経済	経済	久松 太郎	非常勤講師	経済学史	1221330F	金	4時限	8
経済	経済	金丸 純二	教授	保健体育科教育法 I	9002820F	水	2時限	7
経済	経済	向井 昇	非常勤講師	生活設計・税基礎 I	1230331F	月	1時限	7
経済	経済	幸田 洋子	非常勤講師	FP実技応用 I	1230650F	木	3時限	6
経済	経済	高阪 勇毅	講師	金融システム	1221301F	水	3時限	171
経済	経済	高阪 勇毅	講師	コーポレートファイナンス	1250490F	木	4時限	47
経済	経済	高羅 ひとみ	非常勤講師	上級ミクロ経済学	1221290F	水	3時限	63
経済	経済	高羅 ひとみ	非常勤講師	財政学	1240610F	水	4時限	229
経済	経済	佐藤 健次	非常勤講師	リスク管理・金融応用 I	1230630F	水	3時限	8
経済	経済	三川 敦	教授	経済数学	1260371F	水	2時限	45
経済	経済	三川 敦	教授	経済数学	1260372F	木	3時限	37
経済	経済	春名 章二	教授	ミクロ経済学	1220043F	火	4時限	65
経済	経済	勝矢 倫生	非常勤講師	日本経済史	1221211F	金	2時限	57
経済	経済	上迫 明	准教授	企業法 I	1220940F	水	2時限	202
経済	経済	新谷 士朗	非常勤講師	スポーツ心理学	1241120F	金	4時限	44
経済	経済	石丸 敬二	准教授	情報処理基礎	1118012F	火	2時限	39
経済	経済	石丸 敬二	准教授	情報処理基礎	1118015F	木	2時限	40
経済	経済	早川 達二	教授	日本経済論(昭和期)	1221160F	火	1時限	143
経済	経済	早川 達二	教授	マクロ経済学	1220061F	月	4時限	72
経済	経済	大和証券	非常勤講師	証券市場論	1221350F	水	4時限	65
経済	経済	中村 和裕	助教	現代スポーツ論 I	1240090F	火	4時限	96
経済	経済	中村 和裕	助教	スポーツ理論 I	1240041F	木	4時限	99
経済	経済	塚原 一郎義治	非常勤講師	ミクロ経済政策	1221220F	木	1時限	24
経済	経済	塚原 一郎義治	非常勤講師	計量経済学	1221261F	木	2時限	46
経済	経済	藤本 倫史	助教	スポーツ社会学	1240371F	水	1時限	44
経済	経済	藤本 倫史	助教	スポーツ経済学 I	1240330F	木	4時限	51
経済	経済	平田 宏二	教授	地方財政論基礎	1221250F	火	4時限	74
経済	経済	門田 新一郎	非常勤講師	学校保健論	1240060F	金	5時限	64
経済	経済	李 森	教授	労働経済論 I	1220490F	月	2時限	42
経済	経済	李 森	教授	社会保障論 I	1126140F	水	2時限	53
経済	国際経済	古島 義雄	教授	ミクロ経済学	1220041F	火	1時限	76
経済	国際経済	古島 義雄	教授	貿易概論	1221320F	木	1時限	37
経済	国際経済	向井 洋	非常勤講師	金融から見える世界 I	1230410F	水	5時限	13
経済	国際経済	足立 浩一	准教授	マーケティング論 I	1125680F	火	3時限	99
経済	国際経済	足立 浩一	准教授	ビジネス英語 I	1260501F	木	1時限	15
経済	国際経済	中村 博	准教授	英語マスター I b	1261290F	月	2時限	52

経済	国際経済	中村 博	准教授	国際学	1230670F	月	3時限	48
経済	国際経済	藤本 浩由	講師	オープンマクロ経済学	1221191F	水	1時限	73
経済	国際経済	藤本 浩由	講師	マクロ経済学	1220062F	水	3時限	77
経済	国際経済	内海 香	非常勤講師	通関実務Ⅱ	1260261F	木	2時限	11
経済	国際経済	鍋島 正次郎	准教授	備後地場産業論	1220772F	火	3時限	31
経済	国際経済	鍋島 正次郎	准教授	地域経済論	1120140F	金	1時限	88
経済	国際経済	萩野 覚	教授	上級マクロ経済学	1221280F	火	4時限	17
経済	国際経済	尾田 温俊	教授	国際金融論	1260070F	月	2時限	37
経済	国際経済	尾田 温俊	教授	EU経済論Ⅰ	1260271F	水	2時限	38
経済	国際経済	富士 彰夫	教授	アメリカ経済論Ⅰ	1125471F	木	1時限	55
経済	国際経済	平山 亮	特任教授	中国経済特論Ⅰ	1260311F	水	4時限	28
経済	国際経済	劉 曙麗	講師	中国ビジネス研究	1260990F	火	2時限	8
経済	国際経済	劉 曙麗	講師	中国経済論Ⅰ	1260292F	木	4時限	70
経済	税務会計	井手吉 成佳	講師	原価計算論Ⅰ	1250231F	火	2時限	71
経済	税務会計	井手吉 成佳	講師	基礎簿記Ⅰ	1210092F	火	3時限	79
経済	税務会計	許 霽	教授	監査論Ⅰ	1250332F	火	2時限	53
経済	税務会計	許 霽	教授	基礎簿記Ⅰ	1210096F	金	2時限	110
経済	税務会計	小林 正和	准教授	販売管理論Ⅰ	1230690F	火	4時限	47
経済	税務会計	小林 正和	准教授	プレゼンテーション	1220861F	木	1時限	28
経済	税務会計	泉 潤慈	教授	所得税法	1126581F	月	2時限	33
経済	税務会計	泉 潤慈	教授	税法概論Ⅰ	1250251F	月	3時限	78
経済	税務会計	中澤 孝夫	教授	経営学Ⅰ	1210254F	木	2時限	183
経済	税務会計	張 楓	准教授	備後経済研究Ⅰ	1250530F	火	5時限	20
経済	税務会計	張 楓	准教授	経営史	1250510F	木	3時限	61
経済	税務会計	日野 恵美子	准教授	経営戦略論Ⅰ	1250400F	水	3時限	7
経済	税務会計	日野 恵美子	准教授	経営学Ⅰ	1210251F	木	1時限	33
経済	税務会計	石井 孝和	講師	基礎簿記Ⅰ	1210093F	月	2時限	88
経済	税務会計	石井 孝和	講師	会计学総論Ⅰ	1250191F	木	2時限	17
人間文化	人間文化	原 千史	教授	ヨーロッパの社会と思想1	2120881F	月	3時限	10
人間文化	人間文化	原 千史	教授	ドイツ語表現法1	2110560F	水	2時限	10
人間文化	人間文化	重迫 隆司	教授	現代芸術とサブカルチャー論	2120380F	金	2時限	20
人間文化	人間文化	重迫 隆司	教授	日英比較文化1	2122340F	木	3時限	45
人間文化	人間文化	清水 洋子	講師	中国語(Ⅰ)	1705311F	金	4時限	29
人間文化	人間文化	清水 洋子	講師	東アジアの歴史と文化1	2120510F	木	3時限	21
人間文化	人間文化	柳川 真由美	講師	日本史(1)	0130101F	月	4時限	141
人間文化	人間文化	柳川 真由美	講師	日本近世の政治と文化1	2120800F	水	2時限	24
人間文化	人間文化	脇 忠幸	講師	日本語表現法1	1307332F	火	2時限	55
人間文化	心理	宮崎 由樹	講師	認知心理学	2320160F	月	3時限	43
人間文化	心理	金平 希	助教	教育臨床心理学	2320020F	月	3時限	48
人間文化	心理	金平 希	助教	障害者心理学	2320040F	水	2時限	45
人間文化	心理	山崎 理央	准教授	パーソナリティと適応	2310075F	水	1時限	79
人間文化	心理	山崎 理央	准教授	臨床心理学	2320120F	木	2時限	45
人間文化	心理	青野 篤子	教授	社会心理学	3121522F	金	2時限	69
人間文化	心理	青野 篤子	教授	英語で心理学Ⅰ	2320540F	木	1時限	25

人間文化	心理	赤澤 淳子	教授	教育相談	2320410F	水	3時限	79
人間文化	心理	赤澤 淳子	教授	生涯発達心理学	2320200F	木	2時限	38
人間文化	心理	日下部 典子	教授	カウンセリング論	2320010F	水	3時限	43
人間文化	心理	平 伸二	教授	生理心理学	2320220F	水	1時限	46
人間文化	心理	平 伸二	教授	心理学基礎論	2310011F	木	1時限	77
人間文化	心理	野寺 綾	准教授	社会調査法	2320070F	月	2時限	54
人間文化	心理	野寺 綾	准教授	心理統計法 I	2320050F	月	4時限	47
人間文化	メディア・映像	阿部 純	講師	メディア文化論	2123100F	月	2時限	66
人間文化	メディア・映像	阿部 純	講師	メディアと調査	2123300F	月	3時限	25
人間文化	メディア・映像	安田 暁	准教授	色彩論	2123190F	月	1時限	111
人間文化	メディア・映像	安田 暁	准教授	プリントメディア制作(応用)	2123310F	木	1時限	30
人間文化	メディア・映像	岡阪 美佐夫	非常勤講師	応用映像制作	2123770F	火	2時限	30
人間文化	メディア・映像	佐野 政美	非常勤講師	応用映像制作	2123770F	火	3時限	20
人間文化	メディア・映像	山本 光秀	非常勤講師	3DCG	2123780F	月	4時限	24
人間文化	メディア・映像	松田 教道	非常勤講師	サウンドデザイン	2123710F	水	3時限	12
人間文化	メディア・映像	大谷 治	非常勤講師	応用映像制作	2123770F	火	3時限	20
人間文化	メディア・映像	大塚 勉	非常勤講師	プリントメディア制作(応用)	2123310F	木	1時限	30
人間文化	メディア・映像	中嶋 健明	教授	3DCG	2123780F	火	3時限	20
人間文化	メディア・映像	中嶋 健明	教授	応用映像制作	2123770F	月	4時限	24
人間文化	メディア・映像	田中 始男	教授	メディアと調査	2123300F	火	4時限	13
人間文化	メディア・映像	田中 始男	教授	情報セキュリティ	2220880F	月	3時限	25
人間文化	メディア・映像	田中 聡登	非常勤講師	広告制作	2123460F	水	2時限	12
人間文化	メディア・映像	渡辺 浩司	准教授	ゲームメディア論	2123370F	火	1時限	27
人間文化	メディア・映像	渡辺 浩司	准教授	マルチメディア制作	2123240F	月	2時限	29
人間文化	メディア・映像	渡辺 敏恵	非常勤講師	アナウンス	2123490F	金	3時限	29
人間文化	メディア・映像	筒本 和広	教授	情報処理基礎	1118021F	金	4時限	24
人間文化	メディア・映像	筒本 和広	教授	情報処理基礎	1118022F	月	2時限	39
人間文化	メディア・映像	筒本 和広	教授	情報処理基礎	1118023F	木	4時限	53
人間文化	メディア・映像	内垣戸 貴之	准教授	メディア表現入門	2210050F	木	3時限	35
人間文化	メディア・映像	岡 晃弘	教授	ドイツ語(Ⅰ)	0190416F	金	1時限	100
人間文化	メディア・映像	岡 晃弘	教授	ドイツ語(Ⅰ)	0170511F	月	1時限	39
工	スマートシステム	横井 一仁	客員教授	スマートシステム概論	3121600F	金	3時限	10
工	スマートシステム	沖 俊任	准教授	ものづくり加工法	3121260F	火	2時限	11
工	スマートシステム	沖 俊任	准教授	スマートシステム概論	3121600F	金	3時限	10
工	スマートシステム	関田 隆一	准教授	スマートシステム概論	3121600F	金	3時限	10
工	スマートシステム	関田 隆一	准教授	リスクマネジメント	3121710F	月	4時限	15
工	スマートシステム	関田 隆一	准教授	物理学Ⅰ	3010101F	水	1時限	65
工	スマートシステム	宮内 克之	教授	防災工学	3220610F	火	1時限	76
工	スマートシステム	宮内 克之	教授	耐震構造	3121570F	金	1時限	42
工	スマートシステム	宮内 克之	教授	地域防災基礎	0156022F	水	5時限	154
工	スマートシステム	伍賀 正典	准教授	スマートシステム概論	3121600F	金	3時限	10
工	スマートシステム	伍賀 正典	准教授	ロボット制御	3121380F	月	3時限	17
工	スマートシステム	伍賀 正典	准教授	プログラミング基礎	3121300F	水	2時限	11
工	スマートシステム	香川 直己	教授	電子基礎	3120590F	火	1時限	8
工	スマートシステム	香川 直己	教授	回路理論Ⅱ	3120070F	月	2時限	14



工	スマートシステム	三谷 康夫	教授	人工知能	3121420F	金	3時限	13
工	スマートシステム	三谷 康夫	教授	計測工学	3121240F	金	4時限	11
工	スマートシステム	菅原 聡	准教授	デジタルシステム	3121221F	金	2時限	11
工	スマートシステム	菅原 聡	准教授	電気磁気学Ⅱ	3120020F	木	3時限	19
工	スマートシステム	仲嶋 一	教授	電子物理	3120030F	木	2時限	12
工	スマートシステム	仲嶋 一	教授	基礎電気技術	4120530F	木	3時限	32
工	スマートシステム	田中 聡	准教授	スマートシステム概論	3121600F	金	3時限	10
工	スマートシステム	田中 聡	准教授	通信工学	3120440F	木	1時限	18
工	スマートシステム	田中 聡	准教授	電波工学	3120460F	木	3時限	10
工	建築	伊澤 康一	講師	専門英語	3010334F	金	2時限	59
工	建築	伊澤 康一	講師	建築環境工学Ⅰ	3320200F	木	4時限	71
工	建築	宮地 功	教授	設計製図演習Ⅲ	3320180F	火	3時限	53
工	建築	宮地 功	教授	建築積算	3321800F	水	2時限	27
工	建築	佐々木 伸子	准教授	生活デザイン演習Ⅰ	3321930F	火	1時限	18
工	建築	佐々木 伸子	准教授	医療福祉施設概論	3321990F	火	3時限	47
工	建築	佐々木 伸子	准教授	設計製図演習Ⅰ	3320040F	月	3時限	67
工	建築	佐藤 圭一	教授	設計製図演習Ⅲ	3320180F	火	3時限	53
工	建築	佐藤 圭一	教授	近代建築史	3320130F	水	2時限	26
工	建築	山田 明	准教授	構造・力学入門	3310101F	金	2時限	85
工	建築	山田 明	准教授	建築材料	3320840F	木	3時限	88
工	建築	酒井 要	助教	CG演習	3320730F	火	1時限	57
工	建築	酒井 要	助教	計画系技術ⅡB	3321900F	月	2時限	25
工	建築	大島 秀明	教授	計画系技術ⅡA	3321890F	月	2時限	25
工	建築	大島 秀明	教授	都市計画	3320360F	水	1時限	61
工	建築	田辺 和康	教授	地学	3010292F	木	1時限	67
工	建築	田辺 和康	教授	地学Ⅰ	3010294F	木	2時限	35
工	建築	田辺 和康	教授	キャリアデザインⅠ	0160123F	木	5時限	162
工	建築	都祭 弘幸	教授	静定力学Ⅱ	3220142F	金	1時限	91
工	建築	都祭 弘幸	教授	構造系技術ⅡB	3321860F	金	2時限	18
工	建築	藤原 美樹	准教授	建築計画Ⅰ	3320020F	月	2時限	75
工	建築	藤原 美樹	准教授	デザイン論	3310010F	水	1時限	66
工	情報工	宮崎 光二	准教授	コンピュータネットワーク	3421371F	火	4時限	33
工	情報工	金子 邦彦	教授	アセンブラ	3421470F	金	2時限	33
工	情報工	金子 邦彦	教授	オペレーションズリサーチ	3420460F	木	3時限	49
工	情報工	山之上 卓	教授	専門英語	3010331F	火	2時限	40
工	情報工	山之上 卓	教授	情報処理基礎	1118033F	金	2時限	41
工	情報工	新谷 敏朗	准教授	ゲームプログラミング	3421490F	金	3時限	12
工	情報工	新谷 敏朗	准教授	データ構造とアルゴリズムⅠ	3421240F	月	4時限	44
工	情報工	占部 逸正	教授	基礎数学Ⅰ	3010040F	金	3時限	40
工	情報工	占部 逸正	教授	論理回路	3421361F	月	3時限	41
工	情報工	池岡 宏	講師	Webプログラミング	3420860F	火	3時限	39
工	情報工	池岡 宏	講師	画像処理	3421400F	月	2時限	31
工	情報工	中道上	准教授	安全情報システム	3421701F	火	1時限	63
工	情報工	中道上	准教授	情報システム	3420470F	火	3時限	31

工	情報工	尾関 孝史	教授	情報工学入門(情報化社会と倫理)	3420940F	火	3時限	45
工	情報工	尾関 孝史	教授	プログラミング応用	3421230F	金	3時限	35
工	機械システム工	関根 康史	准教授	メカニカルデザイン	3520760F	火	3時限	32
工	機械システム工	関根 康史	准教授	機械設計製図基礎	3520010F	月	4時限	41
工	機械システム工	坂口 勝次	教授	感性デザイン	3520950F	金	3時限	22
工	機械システム工	坂口 勝次	教授	熱力学	3521260F	月	3時限	31
工	機械システム工	小林 正明	講師	機械システム工学入門	3520030F	金	4時限	43
工	機械システム工	小林 正明	講師	計測工学	3520791F	水	1時限	19
工	機械システム工	真鍋 圭司	教授	材料力学 I	3520220F	金	1時限	29
工	機械システム工	真鍋 圭司	教授	数学 I	3010015F	水	4時限	44
工	機械システム工	中東 潤	准教授	機能材料学	3520210F	火	4時限	22
工	機械システム工	中東 潤	准教授	デジタルデザイン	3521290F	水	4時限	25
工	機械システム工	内田 博志	教授	自動車構造 I	3520660F	火	2時限	14
工	機械システム工	内田 博志	教授	エンジンシステム	3520830F	月	3時限	26
工	機械システム工	木村 純壮	教授	制御システム設計	3520771F	金	2時限	17
工	機械システム工	木村 純壮	教授	工業数学 II	3010072F	金	3時限	15
工	機械システム工	野西 利次	教授	要素設計学	3521250F	木	2時限	28
工	機械システム工	野西 利次	教授	自動車力学	3520890F	木	3時限	12
工	機械システム工	霧崎 展	客員教授	流体工学	3520070F	金	2時限	31
生命工	生物工	岩本 博行	教授	化学 I	3010181F	月	1時限	54
生命工	生物工	岩本 博行	教授	食品化学	4010270F	木	2時限	44
生命工	生物工	吉崎 隆之	講師	機能生化学	4120110F	金	1時限	18
生命工	生物工	久富 泰資	教授	バイオ浄化学	4120890F	火	2時限	37
生命工	生物工	久富 泰資	教授	分子生物学	4120061F	金	1時限	50
生命工	生物工	原口 博行	教授	生化学 I	4210050F	火	1時限	28
生命工	生物工	原口 博行	教授	生物学 I	3010252F	月	2時限	81
生命工	生物工	原口 博行	教授	植物栄養生理学	4120870F	木	1時限	57
生命工	生物工	広岡 和丈	准教授	化学 II	3010193F	月	1時限	56
生命工	生物工	広岡 和丈	准教授	化学生態学	4120561F	木	1時限	21
生命工	生物工	佐藤 淳	准教授	地球環境科学	4120780F	火	1時限	50
生命工	生物工	佐藤 淳	准教授	生物学 I	3010252F	月	2時限	79
生命工	生物工	佐藤 淳	准教授	環境バイオ製品	4121520F	木	1時限	32
生命工	生物工	山口 泰典	教授	動物資源学	4120860F	水	1時限	46
生命工	生物工	山口 泰典	教授	動物機能利用学	4121510F	木	2時限	44
生命工	生物工	山本 覚	教授	代謝生化学	4010241F	火	1時限	42
生命工	生物工	山本 覚	教授	動物生理学	4121230F	月	1時限	47
生命工	生物工	松崎 浩明	教授	バイオ英語 II	4010260F	火	2時限	13
生命工	生物工	松崎 浩明	教授	生物学 II	3010263F	水	1時限	60
生命工	生物工	秦野 琢之	教授	微生物培養工学	4121490F	月	1時限	33
生命工	生物工	太田 雅也	教授	構造生化学	4120100F	月	1時限	53
生命工	生物工	太田 雅也	教授	糖鎖生物学	4121641F	水	1時限	19
生命工	生物工	藤田 泰太郎	教授	科学英語	4010193F	月	2時限	43
生命工	生物工	藤田 泰太郎	教授	微生物育種学	4120080F	水	2時限	48
生命工	生命栄養科	井/内 直良	教授	栄養学総論	4220911F	火	1時限	25
生命工	生命栄養科	井/内 直良	教授	有機化学	4210020F	月	3時限	50

生命工	生命栄養科	菊田 安至	教授	分子生物学	4210121F	金	1時限	49
生命工	生命栄養科	菊田 安至	教授	アレルギー学	4210160F	木	1時限	33
生命工	生命栄養科	久保田 みどり	准教授	臨床栄養学Ⅱ	4221000F	火	2時限	30
生命工	生命栄養科	久保田 みどり	准教授	栄養教育論Ⅱ	4220980F	水	1時限	30
生命工	生命栄養科	近藤 寛子	助教	フードコーディネーター論	4220900F	火	2時限	53
生命工	生命栄養科	溝手 千賀子	非常勤講師	地域公衆栄養学	4220850F	木	2時限	31
生命工	生命栄養科	高橋 知佐子	准教授	フードスペシャリスト論	4220890F	月	2時限	53
生命工	生命栄養科	高橋 知佐子	准教授	応用栄養学	4220933F	水	2時限	42
生命工	生命栄養科	山本 英二	教授	食品物性学	4221141F	金	1時限	28
生命工	生命栄養科	山本 英二	教授	フードプロセス	4220710F	月	2時限	29
生命工	生命栄養科	小山 峰志	非常勤講師	社会福祉概論	4210131F	水	1時限	50
生命工	生命栄養科	石井 香代子	准教授	食と健康	0150810F	火	3時限	10
生命工	生命栄養科	石井 香代子	准教授	給食マネジメントⅡ	4221650F	金	2時限	31
生命工	生命栄養科	石崎 由美子	教授	栄養教育論Ⅱ	4220980F	水	1時限	30
生命工	生命栄養科	石崎 由美子	教授	総合演習Ⅰ	4221520F	木	3時限	30
生命工	生命栄養科	赤木 収二	教授	健康管理概論	4210060F	月	1時限	35
生命工	生命栄養科	赤木 収二	教授	疾患学総論	4210151F	月	2時限	42
生命工	生命栄養科	村上 泰子	准教授	卒業演習BⅠ	4221700F	その他	他時限	51
生命工	生命栄養科	村上 泰子	准教授	食事摂取基準論	4221631F	木	2時限	51
生命工	生命栄養科	福田 伸治	非常勤講師	食品衛生学	4220311F	木	1時限	39
生命工	海洋生物科	河原 栄二郎	教授	魚類生理学	4320770F	金	1時限	120
生命工	海洋生物科	河原 栄二郎	教授	魚類解剖学	4320590F	金	2時限	129
生命工	海洋生物科	高村 克美	教授	生物学Ⅰ	3010254F	金	2時限	103
生命工	海洋生物科	高村 克美	教授	動物組織学	4321180F	水	1時限	95
生命工	海洋生物科	阪本 憲司	准教授	魚学概論	4321120F	水	1時限	108
生命工	海洋生物科	阪本 憲司	准教授	水産養殖の生理学	4321663F	木	1時限	110
生命工	海洋生物科	三輪 泰彦	教授	バイオテクノロジー入門	4310040F	金	1時限	69
生命工	海洋生物科	三輪 泰彦	教授	生化学	4320130F	月	2時限	106
生命工	海洋生物科	山岸 幸正	准教授	生物学Ⅰ	3010254F	金	2時限	103
生命工	海洋生物科	山岸 幸正	准教授	干潟と藻場の生物学	4321710F	水	1時限	43
生命工	海洋生物科	水上 雅晴	講師	水生觀賞生物の分類と飼育	4321362F	火	1時限	53
生命工	海洋生物科	水上 雅晴	講師	觀賞魚の飼育と繁殖	4321351F	月	1時限	98
生命工	海洋生物科	倉掛 昌裕	教授	微生物発酵と食品	4321741F	火	1時限	68
生命工	海洋生物科	倉掛 昌裕	教授	食品衛生学	4321411F	金	2時限	62
生命工	海洋生物科	渡辺 伸一	准教授	フィールド調査法	4321323F	火	2時限	82
生命工	海洋生物科	渡辺 伸一	准教授	生物統計学	4010010F	水	2時限	77
生命工	海洋生物科	南 卓志	教授	遺伝資源の利用と管理	4321522F	金	1時限	17
生命工	海洋生物科	南 卓志	教授	沿岸域の水産業	4321621F	木	2時限	100
生命工	海洋生物科	北口 博隆	准教授	暮らしと微生物	4310010F	火	1時限	96
生命工	海洋生物科	北口 博隆	准教授	沿岸域の環境と生物	4321700F	水	2時限	97
生命工	海洋生物科	満谷 淳	教授	微生物発酵と食品	4321741F	火	1時限	68
生命工	海洋生物科	満谷 淳	教授	化学Ⅰ	3010183F	月	2時限	48
生命工	海洋生物科	有瀧 真人	教授	水産学概論	4320840F	火	2時限	97
生命工	海洋生物科	有瀧 真人	教授	増養殖学	4321232F	水	1時限	28

生命工	海洋生物科	高田 浩二	教授	水族館論	4320721F	月	2時限	100
生命工	海洋生物科	高田 浩二	教授	博物館概論	9005050F	月	4時限	62
薬	薬	井上 敦子	教授	生体機能の調節Ⅱ	5140740F	金	2時限	140
薬	薬	井上 裕文	教授	基礎分析化学A	5110270F	月	2時限	158
薬	薬	井上 裕文	教授	薬局方収載の試験法	5130100F	水	1時限	141
薬	薬	岡村 信幸	教授	薬になる動植鉱物	5130260F	火	2時限	140
薬	薬	岡村 信幸	教授	漢方医学概説	5140710F	水	2時限	159
薬	薬	吉富 博則	教授	薬物動態の解析Ⅱ	5130840F	木	1時限	142
薬	薬	金尾 義治	教授	薬物の臓器への到達と消失	5130760F	金	2時限	148
薬	薬	金尾 義治	教授	DDS	5120870F	水	3時限	144
薬	薬	五郎丸 剛	准教授	患者情報	5130890F	火	1時限	143
薬	薬	五郎丸 剛	准教授	社会保障制度と薬剤経済	5131140F	月	2時限	143
薬	薬	広瀬 雅一	講師	医療の担い手の心構え	5130920F	金	3時限	143
薬	薬	広瀬 雅一	講師	基礎病態解析学	5130850F	木	3時限	143
薬	薬	江藤 精二	教授	悪性腫瘍と薬物治療	5120880F	月	1時限	142
薬	薬	高山 健人	助教	薬になる動植鉱物	5130260F	火	2時限	140
薬	薬	今 重之	教授	骨・関節、アレルギー--免疫疾患と薬治	5130860F	火	2時限	144
薬	薬	佐藤 英治	教授	医療の担い手の心構え	5130920F	金	3時限	143
薬	薬	坂根 洋	講師	生体のなりたち	0110710F	火	1時限	157
薬	薬	坂根 洋	講師	社会・集団と健康	5130650F	水	2時限	144
薬	薬	小嶋 英二郎	教授	基礎分析化学A	5110270F	月	2時限	158
薬	薬	小嶋 英二郎	教授	臨床検査	5130880F	木	2時限	142
薬	薬	松岡 浩史	講師	遺伝子を操作する	5120520F	火	2時限	145
薬	薬	松岡 浩史	講師	ゲノム情報と創薬	5140450F	火	2時限	140
薬	薬	上敷領 淳	准教授	生体エネルギー	5130460F	木	2時限	174
薬	薬	森田 哲生	教授	生殖器・内分泌疾患と薬物治療	5130820F	金	1時限	148
薬	薬	秦 季之	教授	物質の構造と相互作用	5140030F	火	1時限	143
薬	薬	秦 季之	教授	物質の変化	5130110F	水	2時限	150
薬	薬	杉原 成美	教授	生体のなりたち	0110710F	火	1時限	157
薬	薬	杉原 成美	教授	疾病の予防	5130640F	木	4時限	143
薬	薬	瀬尾 誠	講師	セルフメディケーションⅠ	0151630F	金	1時限	40
薬	薬	西尾 廣昭	教授	消化器系疾患と薬物治療	5130830F	月	2時限	149
薬	薬	石津 隆	教授	医薬品管理	5131130F	金	2時限	142
薬	薬	石津 隆	教授	薬学の基礎となる化学A	5110280F	木	2時限	155
薬	薬	赤崎 健司	教授	生活環境と健康	5130630F	金	3時限	147
薬	薬	赤崎 健司	教授	社会・集団と健康	5130650F	水	2時限	144
薬	薬	前原 昭次	助教	薬物の宝庫としての天然物	5130290F	木	1時限	147
薬	薬	村上 信行	客員教授	医療の担い手の心構え	5130920F	金	3時限	143
薬	薬	大西 正俊	講師	消化器系疾患と薬物治療	5130830F	月	2時限	149
薬	薬	町支 臣成	教授	基礎有機化学Ⅰ	5140210F	火	2時限	160
薬	薬	町支 臣成	教授	生体分子、医薬品を化学で理解	5130300F	月	1時限	146
薬	薬	鶴田 泰人	教授	薬局方収載の試験法	5130100F	水	1時限	141
薬	薬	鶴田 泰人	教授	機器分析学	5140040F	木	1時限	149
薬	薬	堤 広之	講師	物質の基本概念	0110720F	水	1時限	155

薬	薬	田村 豊	教授	薬の効くメカニズム	5140730F	水	1時限	140
薬	薬	田村 豊	教授	人体の成り立ちと機能 I A	5110290F	木	1時限	155
薬	薬	田中 哲郎	教授	DDS	5120870F	水	3時限	144
薬	薬	田中 哲郎	教授	薬物動態の解析 II	5130840F	木	1時限	142
薬	薬	田淵 紀彦	准教授	生体防御 I	5130510F	火	1時限	151
薬	薬	田淵 紀彦	准教授	感染症にかかる	5120740F	金	4時限	147
薬	薬	渡邊 正知	准教授	生殖器・内分泌疾患と薬物治療	5130820F	金	1時限	148
薬	薬	渡邊 正知	准教授	眼・耳鼻咽喉・皮膚疾患と薬物治療	5130870F	水	1時限	143
薬	薬	藤岡 晴人	教授	有機化学 I	5140230F	月	1時限	138
薬	薬	道原 明宏	准教授	生体のなりたち	0110710F	火	1時限	157
薬	薬	道原 明宏	准教授	ゲノム情報と創薬	5140450F	月	2時限	140
薬	薬	白川 真	講師	物質の状態	5140020F	金	1時限	140
薬	薬	白川 真	講師	薬学の基礎としての数学A	5110260F	水	2時限	150
薬	薬	富田 久夫	教授	物質の状態	5140020F	金	1時限	140
薬	薬	富田 久夫	教授	物質の変化	5130110F	水	2時限	150
薬	薬	富田 久夫	教授	製剤材料の性質	5130770F	木	2時限	126
薬	薬	片山 博和	教授	DDS	5120870F	水	3時限	144
薬	薬	片山 博和	教授	医薬品情報	5121140F	木	3時限	147
薬	薬	本屋敷 敏雄	准教授	生体エネルギー	5130460F	木	2時限	174
薬	薬	木平 孝高	講師	テーラーメイド薬物治療	5130900F	金	1時限	143
薬	薬	長崎 信浩	教授	悪性腫瘍と薬物治療	5120880F	月	1時限	142
薬	薬	数野 博	非常勤講師	フア-マシュー-ティカウア総合演習	5121210F	その他	他時限	80
大学教育センター	Lafleur Louis	非常勤講師	英語 I	1701112F	水	2時限	43	
大学教育センター	Lafleur Louis	非常勤講師	英語発展 (I)	1930110F	水	3時限	45	
大学教育センター	Lee Robb Jae	非常勤講師	英語 I	1701102F	月	3時限	42	
大学教育センター	Lee Robb Jae	非常勤講師	英語発展 (I)	1930101F	月	4時限	22	
大学教育センター	Lowes Jason	講師	英語 I	1701110F	水	2時限	41	
大学教育センター	Lowes Jason	講師	英語 I	1701120F	木	3時限	40	
大学教育センター	Prevatt Jon	非常勤講師	英会話	1931009F	火	2時限	9	
大学教育センター	Tang Warren	助教	英語 I	1701108F	火	4時限	45	
大学教育センター	Tang Warren	助教	英語 I	1701117F	木	2時限	43	
大学教育センター	奥田 秀巳	非常勤講師	日本語表現法	1307308F	月	4時限	51	
大学教育センター	宮田 朋恵	非常勤講師	日本語表現法	1307302F	月	2時限	52	
大学教育センター	宮田 朋恵	非常勤講師	国語表現法 I	1307344F	月	4時限	64	
大学教育センター	金川 洋臣	非常勤講師	書道	0150111F	火	3時限	30	
大学教育センター	金川 洋臣	非常勤講師	書道	0150112F	水	3時限	30	
大学教育センター	溝淵 裕	非常勤講師	憲法	0120152F	金	1時限	93	
大学教育センター	高垣 裕子	非常勤講師	英語 II	1701201F	金	2時限	39	
大学教育センター	高垣 裕子	非常勤講師	英語発展 (I)	1930113F	金	3時限	40	
大学教育センター	山本 賢太郎	非常勤講師	囲碁から学ぶ人間学	0151750F	火	4時限	77	
大学教育センター	柴原 直樹	非常勤講師	日本史 (1)	0130104F	金	3時限	195	
大学教育センター	柴原 直樹	非常勤講師	日本史 (1)	0130105F	金	4時限	117	
大学教育センター	若松 正晃	講師	英語 II	1701204F	金	2時限	37	
大学教育センター	若松 正晃	講師	英語発展 (I)	1701119F	水	3時限	48	

大学教育センター	周 躍	非常勤講師	英語Ⅰ	1701111F	水	2時限	43
大学教育センター	周 躍	非常勤講師	英語Ⅰ	1930109F	水	2時限	43
大学教育センター	渋谷 清	非常勤講師	絵画	0150200F	火	4時限	14
大学教育センター	小野 太幹	准教授	数理科学	0110251F	火	3時限	42
大学教育センター	小野 太幹	准教授	数理科学	0110252F	火	4時限	34
大学教育センター	上村 嘉子	非常勤講師	哲学(Ⅰ)	0140100F	金	2時限	121
大学教育センター	上村 崇	非常勤講師	ヨーロッパ思想入門Ⅰ	2120392F	火	3時限	31
大学教育センター	上村 崇	非常勤講師	倫理学(Ⅰ)	0140400F	火	4時限	96
大学教育センター	新井 純美	非常勤講師	英語発展(Ⅰ)	1930114F	金	3時限	42
大学教育センター	新井 純美	非常勤講師	英語発展(Ⅰ)	1930116F	金	4時限	31
大学教育センター	森岡 悦子	非常勤講師	英語Ⅱ	1701203F	金	2時限	38
大学教育センター	森岡 悦子	非常勤講師	英語Ⅰ	1701123F	木	3時限	37
大学教育センター	神野 靖子	非常勤講師	音楽	0150411F	木	2時限	11
大学教育センター	菅波 眞吾	非常勤講師	剣道(Ⅰ)	0151110F	金	2時限	9
大学教育センター	西田 正	非常勤講師	英語Ⅱ	1701202F	金	2時限	40
大学教育センター	西田 正	非常勤講師	英語発展(Ⅰ)	1930112F	金	3時限	35
大学教育センター	石井 成人	非常勤講師	フランス語(Ⅰ)	0170551F	火	3時限	72
大学教育センター	赤松 頌也	非常勤講師	フランス語(Ⅰ)	0170552F	火	3時限	35
大学教育センター	赤松 頌也	非常勤講師	フランス語(Ⅰ)	0170554F	火	4時限	12
大学教育センター	前田 吉広	助教	インターネット・リテラシ入門	0112250F	水	2時限	63
大学教育センター	前田 吉広	助教	キャリアデザインⅡ	0160213F	木	5時限	21
大学教育センター	大塚 豊	教授	教育原理	0121503F	金	5時限	87
大学教育センター	大塚 豊	教授	教育原理	0121502F	木	2時限	61
大学教育センター	大塚 豊	教授	教育課程論	9003610F	木	4時限	57
大学教育センター	谷川 充美	非常勤講師	日本語表現法	1307304F	月	3時限	28
大学教育センター	谷川 充美	非常勤講師	日本語表現法Ⅰ	1307331F	月	4時限	28
大学教育センター	地主 弘幸	准教授	物理の世界	0110450F	水	3時限	67
大学教育センター	地主 弘幸	准教授	物理の世界	0110451F	木	2時限	24
大学教育センター	池田 匡史	非常勤講師	日本語表現法	1307311F	木	3時限	42
大学教育センター	池田 匡史	非常勤講師	日本語表現法	1307313F	木	4時限	10
大学教育センター	池田 幸恵	非常勤講師	英語Ⅰ	1701115F	木	2時限	43
大学教育センター	池田 幸恵	非常勤講師	英語Ⅰ	1701122F	木	3時限	38
大学教育センター	竹盛 浩二	講師	日本語表現法	1307310F	木	3時限	35
大学教育センター	竹盛 浩二	講師	日本語表現法	1307312F	木	4時限	52
大学教育センター	中尾 佳行	教授	英語発展(Ⅰ)	1930103F	火	2時限	32
大学教育センター	中尾 佳行	教授	英語Ⅰ	1701109F	火	4時限	44
大学教育センター	張 治清	非常勤講師	中国語(Ⅰ)	1705309F	木	1時限	17
大学教育センター	張 治清	非常勤講師	中国語(Ⅰ)	1705310F	木	2時限	45
大学教育センター	津田 将行	講師	キャリアデザインⅡ	0160212F	金	5時限	67
大学教育センター	津田 将行	講師	キャリアデザインⅠ	0160123F	木	5時限	162
大学教育センター	田中 宏和	非常勤講師	憲法(Ⅰ)	0120100F	金	1時限	77
大学教育センター	田中 宏和	非常勤講師	市民生活と法	0120551F	金	2時限	75
大学教育センター	湯浅 清治	非常勤講師	自然地理(Ⅰ)	0111300F	木	3時限	125
大学教育センター	湯浅 清治	非常勤講師	人文地理(Ⅰ)	0130410F	木	4時限	272

大学教育センター	藤井 晶子	非常勤講師	日本語表現法	1307303F	月	2時限	34
大学教育センター	藤井 晶子	非常勤講師	日本語表現法	1307307F	月	4時限	43
大学教育センター	藤本 明成	非常勤講師	陶芸	0150311F	水	3時限	28
大学教育センター	藤本 明成	非常勤講師	陶芸	0150314F	木	4時限	29
大学教育センター	末葭 敏久	非常勤講師	中国語（Ⅰ）	1906103F	火	3時限	4
大学教育センター	末葭 敏久	非常勤講師	中国文化入門	2110080F	木	4時限	30
大学教育センター	劉 国彬	准教授	中国語（Ⅰ）	1906102F	月	1時限	76
大学教育センター	劉 国彬	准教授	中国語（Ⅰ）	1906107F	水	3時限	75
大学教育センター	齋藤 拓海	非常勤講師	日本史（Ⅰ）	0130103F	水	3時限	78
共同利用センター	瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	1118042F	月	2時限	51
共同利用センター	瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	1118045F	木	4時限	37
共同利用センター	鶴崎 健一	准教授	自然と人間	0110701F	火	1時限	38
共同利用センター	鶴崎 健一	准教授	自然と人間	0110702F	火	2時限	283
共同利用センター	鶴崎 健一	准教授	暮らしとバイオ	0112201F	水	2時限	100
共同利用センター	鶴崎 健一	准教授	備後地域学	0156010F	水	5時限	77
共同利用センター	鶴崎 健一	准教授	暮らしとバイオ	0112202F	木	1時限	106
共同利用センター	鶴崎 健一	准教授	自然と人間	0110703F	木	3時限	145
共同利用センター	片桐 重和	助教	情報処理基礎	1118033F	金	2時限	42
共同利用センター	片桐 重和	助教	実用ソフトウェア	3421290F	木	2時限	34
国際センター	趙 建紅	准教授	1級受験日本語Ⅰ（留学生用）	8000812F	月	3時限	7
国際センター	趙 建紅	准教授	日本語（Ⅴ）（留学生用科目）	0192601F	水	3時限	7

平成 28 年度（後期）授業アンケート実施科目一覧

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済	経済	伊藤 祐一	非常勤講師	情報処理技法	1210443F	水	1 時限	43
経済	経済	伊藤 祐一	非常勤講師	情報処理技法	1210444F	水	2 時限	44
経済	経済	吉田 卓史	准教授	体育理論	0150750F	火	1 時限	160
経済	経済	吉田 卓史	准教授	スポーツ理論Ⅱ	1240050F	火	3 時限	65
経済	経済	三川 敦	教授	経済数学	1260374F	木	3 時限	30
経済	経済	石丸 敬二	准教授	情報処理技法	1210442F	火	2 時限	56
経済	経済	石丸 敬二	准教授	情報処理技法	1210445F	木	2 時限	61
経済	経済	平田 宏二	教授	地方財政論Ⅱ	1220380F	火	4 時限	65
経済	経済	平田 宏二	教授	現代社会と経済	0120750F	水	1 時限	141
経済	経済	野村證券	非常勤講師	資本市場論	1230290F	水	4 時限	76
経済	経済	上迫 明	准教授	企業法Ⅱ	1220950F	水	2 時限	176
経済	経済	上迫 明	准教授	情報倫理	1270010F	木	3 時限	114
経済	経済	勝矢 倫生	非常勤講師	日本経済史Ⅱ	1220487F	金	2 時限	8
経済	経済	幸田 洋子	非常勤講師	F P 実技応用Ⅱ	1230660F	木	3 時限	7
経済	経済	門田 正久	非常勤講師	スポーツ救急技法	1241050F	木	4 時限	32
経済	経済	鳥谷部 茂	非常勤講師	市民生活と法	0120552F	金	3 時限	62
経済	経済	李 森	教授	労働経済論Ⅱ	1220500F	月	2 時限	50
経済	経済	蓮尾 陽平	非常勤講師	社会・公民科教育法	9002910F	木	2 時限	5
経済	経済	金丸 純二	教授	保健体育科教育法Ⅱ	9002830F	水	2 時限	12
経済	経済	金丸 純二	教授	保健体育科教育法Ⅳ	9002850F	木	2 時限	6
経済	経済	早川 達二	教授	マクロ経済学	1220063F	月	4 時限	68
経済	経済	早川 達二	教授	日本経済論Ⅱ	1220170F	火	1 時限	108
経済	経済	井本 伸	非常勤講師	経済統計学Ⅱ	1220751F	火	2 時限	98
経済	経済	高阪 勇毅	講師	貨幣論Ⅰ	1220330F	月	3 時限	29
経済	経済	高阪 勇毅	講師	金融論	1221312F	水	3 時限	155
経済	経済	中村 和裕	助教	現代スポーツ論Ⅱ	1240100F	火	4 時限	75
経済	経済	中村 和裕	助教	生涯スポーツ論	1240380F	木	1 時限	62
経済	経済	藤本 倫史	助教	スポーツNPO論	1240540F	木	1 時限	40
経済	経済	藤本 倫史	助教	スポーツ経済学Ⅱ	1240350F	木	4 時限	64
経済	経済	新谷 士朗	非常勤講師	体育（2）	0150622F	火	2 時限	36
経済	経済	新谷 士朗	非常勤講師	体育（2）	0150623F	火	3 時限	36
経済	経済	春名 章二	教授	ミクロ経済学	1220044F	火	4 時限	66
経済	経済	春名 章二	教授	産業組織論	1221270F	水	3 時限	20
経済	経済	加藤 真也	非常勤講師	環境経済学Ⅰ	1220960F	木	3 時限	37
経済	経済	加藤 真也	非常勤講師	経済政策Ⅱ	1220300F	木	4 時限	83
経済	経済	井上 矩之	非常勤講師	備後と物流Ⅱ	1221010F	木	3 時限	7
経済	国際経済	鍋島 正次郎	准教授	中南米経済論	1120530F	火	3 時限	28



経済	国際経済	内海 香	非常勤講師	関税定率法	1260200F	木	3 時限	8
経済	国際経済	富士 彰夫	教授	アメリカ経済論Ⅱ	1125481F	木	1 時限	37
経済	国際経済	中村 博	准教授	英語マスターⅡ	1261730F	月	2 時限	51
経済	国際経済	中村 博	准教授	国際政治学	1230681F	月	3 時限	28
経済	国際経済	尾田 温俊	教授	E U 経済論Ⅱ	1260280F	水	2 時限	49
経済	国際経済	尾田 温俊	教授	経済学（2）	0120700F	土	2 時限	5
経済	国際経済	足立 浩一	准教授	マーケティング論Ⅱ	1125690F	火	3 時限	70
経済	国際経済	足立 浩一	准教授	アジア・太平洋経済論	1260421F	水	3 時限	10
経済	国際経済	古島 義雄	教授	ミクロ経済学	1220042F	火	1 時限	82
経済	国際経済	古島 義雄	教授	国際貿易論	1261620F	木	1 時限	31
経済	国際経済	藤本 浩由	講師	国際機関論	1261630F	水	1 時限	22
経済	国際経済	藤本 浩由	講師	マクロ経済学	1220064F	水	3 時限	71
経済	国際経済	平山 亮	特任教授	中国経済特論Ⅱ	1260321F	水	4 時限	22
経済	国際経済	平山 亮	特任教授	アジア直接投資論Ⅱ	1261650F	木	3 時限	16
経済	国際経済	高羅 ひとみ	非常勤講師	開発経済学	1260040F	水	3 時限	18
経済	国際経済	高羅 ひとみ	非常勤講師	租税論	1221200F	水	4 時限	82
経済	国際経済	萩野 覚	教授	英語で学ぶ国際経済Ⅱ	1230440F	月	4 時限	8
経済	国際経済	劉 曙麗	講師	アジア経済論	1260410F	火	2 時限	26
経済	国際経済	劉 曙麗	講師	中国経済論Ⅱ	1260301F	木	4 時限	30
経済	国際経済	向井 洋	非常勤講師	金融から見える世界Ⅱ	1230420F	水	5 時限	38
経済	国際経済	辺 西岩	非常勤講師	中国語マスターⅡ	1261690F	水	5 時限	28
経済	税務会計	泉 潤慈	教授	法人税法	1121180F	月	2 時限	35
経済	税務会計	泉 潤慈	教授	税法概論Ⅱ	1250260F	月	3 時限	76
経済	税務会計	許 霽	教授	監査論Ⅱ	1250340F	火	2 時限	47
経済	税務会計	許 霽	教授	基礎簿記Ⅱ	1210105F	金	2 時限	102
経済	税務会計	池下 泰宏	非常勤講師	税務会計Ⅱ	1250320F	金	2 時限	32
経済	税務会計	日野 恵美子	准教授	経営学Ⅱ	1210261F	木	1 時限	31
経済	税務会計	荒木 純子	非常勤講師	基礎簿記Ⅰ	1210090F	水	4 時限	67
経済	税務会計	井手吉 成佳	講師	原価計算論Ⅱ	1250240F	火	2 時限	40
経済	税務会計	井手吉 成佳	講師	基礎簿記Ⅱ	1210101F	火	3 時限	71
経済	税務会計	張 楓	准教授	備後経済研究Ⅱ	1250540F	火	5 時限	8
経済	税務会計	張 楓	准教授	備後経済論Ⅲ	1272220F	木	4 時限	104
経済	税務会計	中澤 孝夫	教授	中小企業論	1120440F	水	3 時限	84
経済	税務会計	中澤 孝夫	教授	経営学Ⅱ	1210260F	木	2 時限	203
経済	税務会計	金 鉉善	非常勤講師	民法Ⅱ	1220540F	金	3 時限	78
経済	税務会計	井上 直樹	講師	基礎簿記Ⅱ	1210100F	月	2 時限	89
経済	税務会計	井上 直樹	講師	会計学総論Ⅱ	1250200F	木	2 時限	70
経済	税務会計	小林 正和	准教授	販売管理論Ⅱ	1230700F	火	4 時限	51
経済	税務会計	小林 正和	准教授	プレゼンテーション	1220862F	木	1 時限	10
人間文化	人間文化	原 千史	教授	現代芸術と美学	2120370F	月	4 時限	23
人間文化	人間文化	原 千史	教授	ドイツ語（Ⅱ）	0170524F	水	3 時限	19

人間文化	人間文化	重迫 隆司	教授	英語Ⅱ	1701209F	月	3時限	26
人間文化	人間文化	重迫 隆司	教授	日英比較文化2	2122350F	木	3時限	45
人間文化	人間文化	市瀬 信子	教授	中国近世文化研究2	2120271F	金	4時限	7
人間文化	人間文化	佐藤 昭嗣	非常勤講師	日本古代の社会と文化2	2120770F	木	1時限	13
人間文化	人間文化	青木 美保	教授	日本近現代文学研究2	2120691F	月	2時限	22
人間文化	人間文化	青木 美保	教授	日本語表現法2	2110221F	火	2時限	53
人間文化	人間文化	青木 美保	教授	基礎演習Ⅱ	2120621F	木	2時限	13
人間文化	人間文化	田野 慎二	非常勤講師	日本王朝文学研究2	2120442F	木	1時限	18
人間文化	人間文化	三村 泰臣	非常勤講師	日本文化入門	2110070F	金	3時限	29
人間文化	人間文化	佐藤 和博	非常勤講師	文化企画実習Ⅰ	2121360F	水	4時限	39
人間文化	人間文化	飯田 操	非常勤講師	英米の文学と思想2	2120540F	火	3時限	15
人間文化	人間文化	飯田 操	非常勤講師	イギリス文学研究2	2120911F	火	4時限	25
人間文化	人間文化	脇 忠幸	講師	日本語学概論2	2120420F	火	4時限	47
人間文化	人間文化	脇 忠幸	講師	基礎演習Ⅱ	2120622F	木	2時限	15
人間文化	人間文化	清水 洋子	講師	中国古典文化研究2	2120731F	木	2時限	19
人間文化	人間文化	清水 洋子	講師	東アジアの歴史と文化2	2120520F	金	4時限	34
人間文化	人間文化	柳川 真由美	講師	日本史(2)	0130201F	月	5時限	68
人間文化	人間文化	柳川 真由美	講師	日本近世の政治と文化2	2120810F	水	2時限	12
人間文化	人間文化	古川 瓊子	講師	民法BⅡ	1220930F	火	2時限	17
人間文化	人間文化	古川 瓊子	講師	法学概論(2)	0121830F	金	3時限	31
人間文化	人間文化	藤川 功和	非常勤講師	日本の中世文学2	2120670F	火	3時限	9
人間文化	人間文化	山東 資子	講師	英語Ⅱ	1701207F	月	3時限	43
人間文化	人間文化	山東 資子	講師	英語統語論2	2122170F	火	2時限	7
人間文化	人間文化	新本 万里子	非常勤講師	文化人類学	2110140F	木	4時限	49
人間文化	人間文化	新井 純美	非常勤講師	英語発展(Ⅱ)	1930216F	金	4時限	27
人間文化	人間文化	新井 純美	非常勤講師	英語発展(Ⅱ)	1930214F	金	3時限	25
人間文化	人間文化	山川 廣司	教授	世界史(2)	0130321F	水	3時限	66
人間文化	人間文化	山川 廣司	教授	宗教文化史	2110580F	木	1時限	60
人間文化	人間文化	津口 在五	非常勤講師	ヨーロッパ美術史2	2120600F	水	3時限	68
人間文化	心理	青野 篤子	教授	ジェンダーの心理学	0140730F	金	3時限	206
人間文化	心理	平 伸二	教授	犯罪心理学	2320340F	月	2時限	49
人間文化	心理	野寺 綾	准教授	教育心理学概論	2320180F	火	3時限	45
人間文化	心理	野寺 綾	准教授	心理学研究法	2320030F	水	3時限	69
人間文化	心理	赤澤 淳子	教授	発達心理学	0140801F	月	3時限	123
人間文化	心理	金平 希	助教	地域とボランティア	2320510F	月	2時限	55
人間文化	心理	谷口 敏淳	准教授	健康心理学	2320320F	水	1時限	44
人間文化	心理	谷口 敏淳	准教授	応用行動分析学	2320650F	木	1時限	38
人間文化	心理	宮崎 由樹	講師	心理統計法Ⅱ	2320060F	月	4時限	47
人間文化	心理	宮崎 由樹	講師	産業心理学	2320710F	水	2時限	62
人間文化	メディア・映像	内垣戸 貴之	准教授	eラーニング論	2123570F	火	2時限	18

人間文化	メディア・映像	筒本 和広	教授	情報処理応用	2210071F	月	2 時限	40
人間文化	メディア・映像	筒本 和広	教授	情報処理応用	2210072F	木	4 時限	55
人間文化	メディア・映像	筒本 和広	教授	情報処理応用	2210073F	金	4 時限	25
人間文化	メディア・映像	阿部 純	講師	メディア史	2123540F	月	3 時限	18
人間文化	メディア・映像	阿部 純	講師	情報社会とコミュニケーション	2110831F	木	4 時限	26
人間文化	メディア・映像	安田 暁	准教授	メディアデザイン論	2123470F	月	2 時限	33
人間文化	メディア・映像	安田 暁	准教授	映像文化入門	2110840F	木	3 時限	59
人間文化	メディア・映像	田中 始男	教授	コンピュータリテラシ	2123760F	火	4 時限	28
人間文化	メディア・映像	田中 始男	教授	音響とメディア	2123170F	金	2 時限	25
人間文化	メディア・映像	中嶋 健明	教授	Web デザイン	3420880F	木	2 時限	28
人間文化	メディア・映像	中嶋 健明	教授	映画論	2123750F	木	3 時限	30
人間文化	メディア・映像	松田 教道	非常勤講師	コンピュータミュージック	2123720F	水	3 時限	9
人間文化	メディア・映像	渡辺 浩司	准教授	マルチメディア論	2220430F	火	1 時限	48
人間文化	メディア・映像	渡辺 浩司	准教授	情報ネットワーク	2220130F	火	3 時限	71
工	スマートシステム	三谷 康夫	教授	電子制御Ⅰ	3121270F	木	2 時限	12
工	スマートシステム	三谷 康夫	教授	確率統計	3120240F	木	4 時限	13
工	スマートシステム	田中 聡	准教授	電気通信事業法・電波法	3120980F	月	4 時限	19
工	スマートシステム	田中 聡	准教授	無線工学	3120780F	木	1 時限	17
工	スマートシステム	香川 直己	教授	エンベデッド実習Ⅱ	3121490F	月	3 時限	5
工	スマートシステム	香川 直己	教授	回路理論Ⅰ	3120040F	火	1 時限	13
工	スマートシステム	沖 俊任	准教授	設計製図	3121280F	月	1 時限	14
工	スマートシステム	沖 俊任	准教授	ものづくり加工実習	3121330F	金	3 時限	13
工	スマートシステム	伍賀 正典	准教授	スマートシステム応用実験Ⅱ	3121660F	火	3 時限	16
工	スマートシステム	伍賀 正典	准教授	M B D実習Ⅱ	3121650F	水	3 時限	6
工	スマートシステム	関田 隆一	准教授	技術者倫理	3121680F	月	2 時限	10
工	スマートシステム	関田 隆一	准教授	プロジェクトマネジメント	3121590F	木	1 時限	49
工	スマートシステム	仲嶋 一	教授	技術英語	3010332F	水	2 時限	11
工	スマートシステム	仲嶋 一	教授	半導体工学	3121080F	水	4 時限	4
工	スマートシステム	菅原 聡	准教授	電気磁気学Ⅰ	3120010F	月	3 時限	17
工	スマートシステム	菅原 聡	准教授	アナログシステム	3121201F	金	1 時限	19
工	スマートシステム	宮内 克之	教授	地域防災応用	0156032F	水	5 時限	128
工	建築	田辺 和康	教授	環境工学	3120540F	水	1 時限	77
工	建築	宮地 功	教授	景観デザイン	3320690F	火	3 時限	73
工	建築	宮地 功	教授	建築デザイン論	3320150F	水	2 時限	66
工	建築	大島 秀明	教授	設計製図演習Ⅳ	3320940F	月	3 時限	56
工	建築	大島 秀明	教授	建築計画Ⅱ	3320110F	火	4 時限	71
工	建築	酒井 要	助教	情報処理	3310110F	月	2 時限	70
工	建築	酒井 要	助教	C A D演習Ⅱ	3321370F	金	3 時限	69
工	建築	藤原 美樹	准教授	ユニバーサルデザイン論	3322010F	月	2 時限	45
工	建築	藤原 美樹	准教授	福祉住環境	3010390F	水	1 時限	64

工	建築	山田 明	准教授	静定力学Ⅰ	3220052F	木	1時限	95
工	建築	山田 明	准教授	建築一般構造	3321270F	金	2時限	90
工	建築	都祭 弘幸	教授	構造技術	3322030F	木	1時限	68
工	建築	都祭 弘幸	教授	不静定力学	3320893F	木	2時限	54
工	建築	伊澤 康一	講師	計画技術B	3321825F	木	2時限	60
工	建築	伊澤 康一	講師	建築設備	3320460F	金	1時限	60
工	建築	佐藤 圭一	教授	設計製図演習Ⅱ	3320050F	火	1時限	68
工	建築	佐藤 圭一	教授	西洋建築史	3320140F	水	2時限	72
工	建築	佐々木 伸子	准教授	建築インテリア仕上げ材料	3321980F	月	2時限	66
工	建築	佐々木 伸子	准教授	住宅計画	3321260F	月	3時限	72
工	建築	青木 茂	非常勤講師	建築施工	3321425F	木	4時限	59
工	建築	秋岡 昌彦	非常勤講師	造形演習Ⅰ	3320030F	木	3時限	59
工	建築	後藤 亜貴	非常勤講師	生活デザイン演習Ⅲ	3321950F	水	3時限	13
工	情報工	占部 逸正	教授	基礎数学Ⅱ	3010050F	木	3時限	32
工	情報工	占部 逸正	教授	ヒューマンコンピュータインタラクション	3420795F	金	2時限	37
工	情報工	新谷 敏朗	准教授	情報化社会と職業	3421480F	水	3時限	22
工	情報工	新谷 敏朗	准教授	データ構造とアルゴリズムⅡ	3421380F	金	2時限	12
工	情報工	尾関 孝史	教授	オペレーティングシステム	3420340F	木	2時限	34
工	情報工	樽谷 昭彦	非常勤講師	コンピュータグラフィックス	3420380F	火	2時限	27
工	情報工	宮崎 光二	准教授	アプリデザイン演習	3421690F	月	4時限	25
工	情報工	中道 上	准教授	ソフトウェア工学	3421160F	月	4時限	33
工	情報工	山之上 卓	教授	暗号とセキュリティ	3421510F	月	2時限	31
工	情報工	山之上 卓	教授	実用ネットワーク管理	3421500F	木	3時限	24
工	情報工	金子 邦彦	教授	データベースシステム	3420491F	金	3時限	32
工	情報工	池岡 宏	講師	プログラミング入門	3420950F	月	2時限	44
工	情報工	森田 翔太	助教	コンピュータアーキテクチャ	3421670F	金	2時限	44
工	機械システム工	鶴崎 展	客員教授	流体機械システム	3520270F	金	4時限	21
工	機械システム工	野西 利次	教授	強度設計学	3520630F	月	2時限	23
工	機械システム工	野西 利次	教授	機械力学	3520250F	月	4時限	28
工	機械システム工	坂口 勝次	教授	熱エネルギー工学	3521270F	月	3時限	19
工	機械システム工	坂口 勝次	教授	メカニカルCAE	3520980F	木	4時限	26
工	機械システム工	真鍋 圭司	教授	生産加工システム	3520810F	火	2時限	54
工	機械システム工	真鍋 圭司	教授	物理学Ⅱ	3010111F	金	3時限	49
工	機械システム工	木村 純壮	教授	メカトロニクス入門	3421570F	火	3時限	49
工	機械システム工	木村 純壮	教授	工業数学Ⅰ	3010062F	木	3時限	40
工	機械システム工	中東 潤	准教授	機械材料学	3520060F	水	1時限	49
工	機械システム工	小林 正明	講師	電気工学概論	3520300F	月	3時限	33
工	機械システム工	小林 正明	講師	交通マネジメント	3121540F	火	1時限	47
工	機械システム工	内田 博志	教授	自動車構造Ⅱ	3520680F	月	4時限	16
工	機械システム工	内田 博志	教授	環境自動車工学	3520511F	金	2時限	24

工	機械システム工	関根康史	准教授	ターボデジタルデザイン	3521330F	火	4 時限	26
生命工	生物工	藤田 泰太郎	教授	遺伝子・ゲノム資源学	4121661F	金	2 時限	14
生命工	生物工	秦野 琢之	教授	バイオマス・資源リサイクル	4120940F	火	2 時限	52
生命工	生物工	秦野 琢之	教授	応用遺伝子工学	4120600F	木	2 時限	21
生命工	生物工	山口 泰典	教授	発生生物学	4010220F	月	2 時限	48
生命工	生物工	山口 泰典	教授	医療とバイオ	4121700F	金	2 時限	38
生命工	生物工	山本 覚	教授	植物栽培技術	4120950F	木	1 時限	47
生命工	生物工	山本 覚	教授	酵素利用工学	4120650F	金	1 時限	42
生命工	生物工	久富 泰資	教授	環境微生物学	4120880F	水	1 時限	49
生命工	生物工	久富 泰資	教授	基礎微生物学	4120480F	金	2 時限	58
生命工	生物工	原口 博行	教授	植物機能利用学	4120390F	火	1 時限	21
生命工	生物工	原口 博行	教授	天然物化学	4120470F	木	1 時限	25
生命工	生物工	松崎 浩明	教授	細胞生物学	4121021F	月	1 時限	58
生命工	生物工	松崎 浩明	教授	遺伝子工学	4120200F	木	2 時限	57
生命工	生物工	太田 雅也	教授	生物有機化学	4010210F	月	1 時限	71
生命工	生物工	太田 雅也	教授	分析化学	3010221F	木	1 時限	92
生命工	生物工	広岡 和丈	准教授	バイオ英語Ⅰ	4010230F	月	2 時限	39
生命工	生物工	広岡 和丈	准教授	代謝制御学	4120250F	水	2 時限	19
生命工	生物工	佐藤 淳	准教授	保全生物学	4120070F	金	2 時限	48
生命工	生物工	吉崎 隆之	講師	醗酵生産・醸造学	4120850F	水	2 時限	53
生命工	生物工	吉崎 隆之	講師	微生物学	4220541F	金	2 時限	53
生命工	生物工	岩本 博行	教授	バイオ分離分析技術	4120840F	月	1 時限	39
生命工	生物工	岩本 博行	教授	食品の消費と流通	4321730F	金	2 時限	62
生命工	生物工	池田 達哉	客員教授	植物分子育種学	4120190F	集	その他	42
生命工	生物工	奥植 容三	非常勤講師	理科教育法	9003010F	火	5 時限	10
生命工	生命栄養科	山本 英二	教授	化学Ⅱ	3010192F	水	1 時限	51
生命工	生命栄養科	山本 英二	教授	生物物理学	3010151F	金	1 時限	91
生命工	生命栄養科	井ノ内 直良	教授	食品材料学	4210191F	月	1 時限	29
生命工	生命栄養科	井ノ内 直良	教授	食品分析化学	4220051F	木	1 時限	30
生命工	生命栄養科	菊田 安至	教授	生化学Ⅱ	4210080F	木	1 時限	28
生命工	生命栄養科	菊田 安至	教授	公衆衛生学	4220421F	金	1 時限	43
生命工	生命栄養科	石井 香代子	准教授	給食マネジメントⅠ	4221611F	水	1 時限	41
生命工	生命栄養科	石井 香代子	准教授	給食管理実習(校外実習)	4221560F	集	その他	42
生命工	生命栄養科	石崎 由美子	教授	環境・スポーツ栄養学	4221641F	月	2 時限	40
生命工	生命栄養科	石崎 由美子	教授	栄養教育論Ⅰ	4220951F	水	2 時限	41
生命工	生命栄養科	久保田みどり	准教授	栄養教育論Ⅰ	4220951F	水	2 時限	41
生命工	生命栄養科	久保田みどり	准教授	食料経済学	4220700F	木	2 時限	43
生命工	生命栄養科	村上 泰子	准教授	臨床栄養学Ⅲ	4221470F	月	1 時限	30
生命工	生命栄養科	村上 泰子	准教授	臨床栄養学Ⅰ	4220961F	金	2 時限	41
生命工	生命栄養科	高橋 知佐子	准教授	公衆栄養学実習(臨地実習)	4221540F	集	その他	16
生命工	生命栄養科	赤木 収二	教授	科学英語B	4010150F	火	1 時限	43

生命工	生命栄養科	赤木 收二	教授	食品と医薬品	4220791F	火	2 時限	41
生命工	生命栄養科	近藤 寛子	助教	調理学	4210170F	火	1 時限	25
生命工	生命栄養科	近藤 寛子	助教	調理学	4210171F	木	1 時限	26
生命工	海洋生物科	倉掛 昌裕	教授	食品機能科学	4220470F	火	2 時限	74
生命工	海洋生物科	倉掛 昌裕	教授	食品の安全管理	4220320F	木	2 時限	140
生命工	海洋生物科	倉掛 昌裕	教授	化学Ⅱ	3010191F	水	1 時限	46
生命工	海洋生物科	三輪 泰彦	教授	水産食品の科学	4320991F	月	2 時限	104
生命工	海洋生物科	三輪 泰彦	教授	基礎分子生物学	4310020F	水	2 時限	97
生命工	海洋生物科	阪本 憲司	准教授	魚介類の育種	4321294F	火	1 時限	96
生命工	海洋生物科	阪本 憲司	准教授	遺伝学	4010030F	木	2 時限	98
生命工	海洋生物科	満谷 淳	教授	科学英語	4010191F	月	1 時限	20
生命工	海洋生物科	満谷 淳	教授	沿岸環境の保全と再生	4321333F	火	2 時限	64
生命工	海洋生物科	満谷 淳	教授	海洋生態学	4320080F	木	1 時限	111
生命工	海洋生物科	河原 栄二郎	教授	魚介類の疾病と予防	4321271F	金	1 時限	56
生命工	海洋生物科	河原 栄二郎	教授	魚病学概論	4321200F	金	2 時限	94
生命工	海洋生物科	高村 克美	教授	海洋動物分類学	4321130F	月	2 時限	113
生命工	海洋生物科	高村 克美	教授	海洋動物発生学	4321170F	火	2 時限	123
生命工	海洋生物科	山岸 幸正	准教授	生物多様性とその保全	4321632F	水	2 時限	98
生命工	海洋生物科	山岸 幸正	准教授	海洋植物分類学	4321140F	金	2 時限	109
生命工	海洋生物科	北口 博隆	准教授	海洋環境科学	4320010F	火	1 時限	100
生命工	海洋生物科	北口 博隆	准教授	化学Ⅱ	3010191F	水	1 時限	46
生命工	海洋生物科	渡辺 伸一	准教授	海洋動物の行動と生態	4321343F	木	1 時限	70
生命工	海洋生物科	渡辺 伸一	准教授	絶滅危惧種と環境保護	4321593F	木	2 時限	15
生命工	海洋生物科	水上 雅晴	講師	生理学	4320550F	火	1 時限	98
生命工	海洋生物科	水上 雅晴	講師	水生生物の生態と環境	4321392F	水	1 時限	101
生命工	海洋生物科	南 卓志	教授	水産資源の生態	4321672F	月	1 時限	103
生命工	海洋生物科	南 卓志	教授	魚類の行動と生理	4321190F	水	1 時限	100
生命工	海洋生物科	有瀧 真人	教授	魚類の飼料と栄養	4321251F	月	2 時限	84
生命工	海洋生物科	有瀧 真人	教授	栽培漁業と魚介類の養殖	4321533F	火	1 時限	20
生命工	海洋生物科	高田 浩二	教授	博物館情報・メディア論	9005160F	月	3 時限	45
生命工	海洋生物科	高田 浩二	教授	水生生物の生態と環境	4321392F	水	1 時限	101
薬	薬	西尾 廣昭	教授	血液・造血器系疾患の薬	5140770F	木	3 時限	140
薬	薬	西尾 廣昭	教授	血液・造血器系疾患と薬物治療	5130730F	木	4 時限	151
薬	薬	金尾 義治	教授	薬物動態の解析Ⅰ	5130740F	火	2 時限	145
薬	薬	吉富 博則	教授	調剤	5130750F	火	1 時限	149
薬	薬	吉富 博則	教授	生命倫理	5110100F	金	4 時限	83
薬	薬	佐藤英治	教授	法制度	5131120F	木	3 時限	146
薬	薬	佐藤英治	教授	調剤	5130750F	火	1 時限	149
薬	薬	長崎信浩	教授	薬学入門Ⅱ	5110191F	金	3 時限	154
薬	薬	長崎信浩	教授	生命倫理	5110100F	金	4 時限	83
薬	薬	藤岡 晴人	教授	基礎有機化学Ⅱ	5140220F	月	1 時限	163

薬	薬	藤岡 晴人	教授	有機化学Ⅱ	5140240F	水	2 時限	138
薬	薬	町支臣成	教授	有機化合物の骨格と性質	5130211F	月	1 時限	163
薬	薬	石津隆	教授	医薬品開発Ⅱ	5131110F	金	3 時限	146
薬	薬	石津隆	教授	有機化学Ⅱ	5140240F	水	2 時限	138
薬	薬	森田 哲生	教授	生命活動を担う7つの臓器	5140460F	月	1 時限	149
薬	薬	森田 哲生	教授	代謝性・呼吸器疾患と薬物治療	5130800F	金	2 時限	151
薬	薬	岡村 信幸	教授	漢方薬物Ⅱ	5130241F	水	2 時限	158
薬	薬	片山 博和	教授	剤形をつくる	5130780F	月	2 時限	146
薬	薬	片山 博和	教授	コミュニティーファーマシー	5121170F	金	1 時限	42
薬	薬	田中哲郎	教授	剤形をつくる	5130780F	月	2 時限	146
薬	薬	広瀬雅一	講師	コミュニティーファーマシー	5121170F	金	1 時限	42
薬	薬	赤崎 健司	教授	生命体の基本単位としての細胞	5130430F	水	1 時限	161
薬	薬	赤崎 健司	教授	生活環境と健康	5130635F	木	2 時限	140
薬	薬	坂根 洋	講師	生命体の基本単位としての細胞	5130430F	水	1 時限	161
薬	薬	坂根 洋	講師	化学物質の生体への影響	5130620F	木	2 時限	131
薬	薬	杉原 成美	教授	食品衛生	5130610F	月	1 時限	145
薬	薬	杉原 成美	教授	化学物質の生体への影響	5130620F	木	2 時限	131
薬	薬	瀬尾 誠	講師	食品衛生	5130610F	月	1 時限	145
薬	薬	田村 豊	教授	代謝性・呼吸器疾患と薬物治療	5130800F	金	2 時限	151
薬	薬	田村 豊	教授	末梢神経系に作用する薬	5140750F	金	1 時限	153
薬	薬	本屋敷 敏雄	准教授	物質の構造と放射線	5140050F	火	2 時限	149
薬	薬	秦 季之	教授	物質の状態Ⅰ	5130010F	木	2 時限	7
薬	薬	秦 季之	教授	物質のエネルギー	5140010F	木	2 時限	158
薬	薬	道原 明宏	准教授	生体防御Ⅱ	5130520F	木	1 時限	146
薬	薬	道原 明宏	准教授	生命情報を担う遺伝子	5130451F	火	2 時限	162
薬	薬	田淵 紀彦	准教授	病原体としての微生物	5140430F	火	1 時限	159
薬	薬	小嶋 英二郎	教授	分析技術の臨床応用	5140060F	月	2 時限	146
薬	薬	小嶋 英二郎	教授	臨床検査	5130885F	金	2 時限	140
薬	薬	井上 敦子	教授	循環器・腎疾患と薬物治療	5130790F	水	2 時限	149
薬	薬	大西 正俊	講師	薬学英語Ⅰ	5110240F	木	1 時限	136
薬	薬	大西 正俊	講師	医療コミュニケーション	5130930F	金	2 時限	143
薬	薬	松岡 浩史	講師	薬学英語Ⅰ	5110240F	木	1 時限	136
薬	薬	松岡 浩史	講師	生命情報を担う遺伝子	5130451F	火	2 時限	162
薬	薬	堤 広之	講師	法制度	5131120F	木	3 時限	146
薬	薬	堤 広之	講師	医薬品開発Ⅱ	5131110F	金	3 時限	146
薬	薬	前原 昭次	助教	天然物化学	5130280F	金	3 時限	145
薬	薬	今 重之	教授	病原微生物とたたかう	5120750F	水	1 時限	147
薬	薬	渡邊 正知	准教授	人体の成り立ちと機能Ⅱ	5140410F	木	1 時限	166
薬	薬	渡邊 正知	准教授	神経・精神疾患と薬物治療	5130810F	金	1 時限	147
薬	薬	藤井 清香	非常勤講師	血液・造血系疾患と薬物治療	5130730F	木	4 時限	151

薬	薬	久渡 隆献	非常勤講師	生命倫理	5110100F	金	4 時限	83
薬	薬	村上 信行	客員教授	コミュニティーファマシー	5121170F	金	1 時限	42
薬	薬	菅 奈奈美	客員教授	薬学入門Ⅱ	5110191F	金	3 時限	154
薬	薬	浜田 史洋	非常勤講師	薬学入門Ⅱ	5110191F	金	3 時限	154
薬	薬	鶴田 泰人	教授	分析技術の臨床応用	5140060F	月	2 時限	146
薬	薬	鶴田 泰人	教授	臨床検査	5130885F	金	2 時限	140
薬	薬	佐藤 隆	非常勤講師	法制度	5131120F	木	3 時限	146
薬	薬	増山 ゆかり	非常勤講師	医薬品開発Ⅱ	5131110F	金	3 時限	146
薬	薬	遠山 茂雄	非常勤講師	医薬品開発Ⅱ	5131110F	金	3 時限	146
大学教育センター		地主 弘幸	准教授	物理現象の基礎	0110460F	水	3 時限	56
大学教育センター		地主 弘幸	准教授	物理学	3010104F	水	4 時限	25
大学教育センター		小野 太幹	准教授	基礎数学	0110261F	火	3 時限	59
大学教育センター		小野 太幹	准教授	基礎数学	0110262F	火	4 時限	45
大学教育センター		丹藤 浩二	専任教授	歴史と人間(2)	0130360F	火	1 時限	38
大学教育センター		丹藤 浩二	専任教授	イスラム文化	0131500F	火	2 時限	51
大学教育センター		藤本 明成	非常勤講師	陶芸	0150315F	水	3 時限	29
大学教育センター		藤本 明成	非常勤講師	陶芸	0150317F	木	3 時限	28
大学教育センター		渋谷 清	非常勤講師	絵画	0150200F	火	4 時限	13
大学教育センター		石井 成人	非常勤講師	フランス語(Ⅱ)	0170561F	火	3 時限	74
大学教育センター		石井 成人	非常勤講師	フランス語(Ⅱ)	0170563F	火	4 時限	29
大学教育センター		菅波 眞吾	非常勤講師	剣道(2)	0151210F	金	2 時限	8
大学教育センター		柴原 直樹	非常勤講師	日本史(2)	0130204F	金	3 時限	84
大学教育センター		柴原 直樹	非常勤講師	日本史(2)	0130205F	金	4 時限	181
大学教育センター		高垣 裕子	非常勤講師	英語発展(Ⅱ)	1930208F	水	3 時限	33
大学教育センター		高垣 裕子	非常勤講師	英語Ⅳ	1701402F	金	2 時限	38
大学教育センター		溝淵 裕	非常勤講師	憲法	0120154F	金	1 時限	82
大学教育センター		劉 国彬	准教授	中国語(Ⅱ)	1705405F	水	2 時限	59
大学教育センター		劉 国彬	准教授	中国語(Ⅱ)	1705401F	月	1 時限	86
大学教育センター		金川 洋臣	非常勤講師	書道	0150113F	火	3 時限	12
大学教育センター		金川 洋臣	非常勤講師	書道	0150114F	水	3 時限	27
大学教育センター		神野 靖子	非常勤講師	音楽	0150412F	木	2 時限	7
大学教育センター		西田 正	非常勤講師	英語発展(Ⅱ)	1930202F	火	2 時限	32
大学教育センター		西田 正	非常勤講師	英語Ⅳ	1701401F	金	2 時限	40
大学教育センター		末葭 敏久	非常勤講師	中国語(Ⅱ)	1705403F	火	3 時限	53
大学教育センター		末葭 敏久	非常勤講師	中国語(Ⅱ)	1705404F	火	4 時限	38
大学教育センター		山本 賢太郎	非常勤講師	福澤から学ぶ人間学(2)	0151760F	火	4 時限	22
大学教育センター		田中 宏和	非常勤講師	憲法	0120153F	金	2 時限	34
大学教育センター		上村 崇	非常勤講師	ヨーロッパ思想入門2	2120402F	火	3 時限	17
大学教育センター		上村 崇	非常勤講師	倫理学(2)	0140500F	火	4 時限	69
大学教育センター		若松 正晃	講師	英語(Ⅱ)	1902201F	月	5 時限	45
大学教育センター		若松 正晃	講師	英語Ⅱ	1701223F	木	2 時限	22



大学教育センター	若松 正晃	講師	英語Ⅳ	1701404F	金	2 時限	36
大学教育センター	若松 正晃	講師	英語Ⅰ	1701152F	金	5 時限	37
大学教育センター	前田 吉広	助教	キャリアデザインⅢ	0160300F	月	5 時限	14
大学教育センター	前田 吉広	助教	Webデザイン入門	0112260F	水	2 時限	64
大学教育センター	前田 吉広	助教	Webデザイン入門	0112265F	水	4 時限	38
大学教育センター	大塚 豊	教授	教育方法論	9001800F	金	3 時限	49
大学教育センター	大塚 豊	教授	教育制度論	0121600F	金	5 時限	139
大学教育センター	赤松 頌也	非常勤講師	フランス語(Ⅱ)	0170562F	火	3 時限	26
大学教育センター	赤松 頌也	非常勤講師	フランス語(Ⅱ)	0170564F	火	4 時限	11
大学教育センター	Lowes Jason	講師	英語Ⅱ	1701205F	月	3 時限	44
大学教育センター	Lowes Jason	講師	英語Ⅱ	1701214F	水	2 時限	42
大学教育センター	津田 将行	講師	キャリアデザインⅡ	0160214F	金	5 時限	51
大学教育センター	津田 将行	講師	インターンシップⅠ	0160500F	集	その他	6
大学教育センター	Tang Warren	助教	英語Ⅱ	1701212F	火	4 時限	44
大学教育センター	Tang Warren	助教	英会話	1931007F	金	3 時限	56
大学教育センター	湯浅 清治	非常勤講師	自然地理(2)	0111400F	木	3 時限	144
大学教育センター	湯浅 清治	非常勤講師	人文地理(2)	0130420F	木	4 時限	301
大学教育センター	森岡 悦子	非常勤講師	英語Ⅱ	1701220F	木	2 時限	43
大学教育センター	森岡 悦子	非常勤講師	英語Ⅳ	1701403F	金	2 時限	39
大学教育センター	牧 貴愛	非常勤講師	教職概論	9003801F	水	4 時限	82
大学教育センター	牧 貴愛	非常勤講師	道徳教育の指導法	9002300F	水	5 時限	31
大学教育センター	吉崎 一	非常勤講師	社会学	0121700F	金	5 時限	21
大学教育センター	谷川 充美	非常勤講師	日本語表現法	1307317F	月	3 時限	22
大学教育センター	谷川 充美	非常勤講師	日本語表現法	1307319F	月	4 時限	38
大学教育センター	平 喜美恵	非常勤講師	キャリアデザインⅣ	0160400F	集	その他	7
大学教育センター	中尾 佳行	教授	英語Ⅱ	1701208F	月	3 時限	43
大学教育センター	中尾 佳行	教授	英語Ⅱ	1701213F	火	4 時限	44
大学教育センター	張 治清	非常勤講師	中国語(Ⅱ)	1705409F	木	1 時限	16
大学教育センター	張 治清	非常勤講師	中国語(Ⅱ)	1705410F	木	2 時限	47
大学教育センター	Prevatt Jon	非常勤講師	英会話	1931012F	火	2 時限	30
大学教育センター	Prevatt Jon	非常勤講師	英会話	1931013F	火	3 時限	21
大学教育センター	藤井 晶子	非常勤講師	日本語表現法2	2110222F	月	4 時限	57
大学教育センター	Lee Robb Jae Yong	非常勤講師	英語Ⅱ	1701206F	月	3 時限	42
大学教育センター	Lee Robb Jae Yong	非常勤講師	英語発展(Ⅱ)	1930201F	月	4 時限	22
大学教育センター	Lafleur Louis	非常勤講師	英語Ⅱ	1701216F	水	2 時限	43
大学教育センター	Lafleur Louis	非常勤講師	英語発展(Ⅱ)	1930210F	水	3 時限	36
大学教育センター	奥田 秀巳	非常勤講師	日本語表現法	1307318F	月	3 時限	22
大学教育センター	奥田 秀巳	非常勤講師	日本語表現法	1307320F	月	4 時限	31
大学教育センター	菊池 達也	非常勤講師	日本史(2)	0130202F	水	2 時限	32
大学教育センター	菊池 達也	非常勤講師	日本史(2)	0130203F	水	3 時限	74
大学教育センター	周 躍	非常勤講師	英語発展(Ⅱ)	1930207F	火	4 時限	38

大学教育センター	周 躍	非常勤講師	英語Ⅱ	1701215F	水	2時限	43
大学教育センター	生関 文翔	非常勤講師	ダンス	0151450F	木	4時限	20
大学教育センター	平田 仁胤	非常勤講師	哲学(2)	0140200F	金	2時限	88
大学教育センター	鈴木 ヘザー	非常勤講師	英語Ⅱ	1701219F	木	2時限	43
大学教育センター	鈴木 ヘザー	非常勤講師	英語Ⅲ	1701303F	木	3時限	37
大学教育センター	岡 晃弘	教授	ドイツ語(Ⅱ)	0170521F	月	1時限	51
大学教育センター	岡 晃弘	教授	ドイツ語(Ⅱ)	0170526F	金	1時限	92
社会連携センター	中村雅樹	助教	暮らしと物づくり	0112003F	木	5時限	290
共同利用センター	鶴崎 健一	准教授	人体のしくみ	0110801F	火	1時限	27
共同利用センター	鶴崎 健一	准教授	人体のしくみ	0110802F	火	2時限	295
共同利用センター	鶴崎 健一	准教授	暮らしとバイオ	0112203F	水	2時限	149
共同利用センター	鶴崎 健一	准教授	人体のしくみ	0110803F	木	3時限	83
共同利用センター	瀬島 紀夫	講師	情報処理応用	1118101F	火	3時限	13
共同利用センター	瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	1118031F	金	2時限	9
共同利用センター	片桐重和	助教	Webデザイン	3420880F	木	2時限	28
国際センター	趙 建紅	准教授	1級受験日本語Ⅱ(留学生用)	8000822F	月	3時限	16
国際センター	趙 建紅	准教授	日本語(4)(留学生用科目)	0192591F	火	3時限	19

平成 28 年度（前期） 授業評価アンケート調査項目

manaba - home

Page 1 of 3

2017-04-03 (Mon)

片桐 重和 | 設定 | ログアウト



マイページ コース

メモ一覧 respon

課題集計

実用ソフトウェア:授業評価アンケート【片桐 重和】

課題に関する説明	福山大学では、授業評価およびあなたの自己点検アンケートを定期的に行っています。学生諸君の授業についての意識や要望などを早く把握して、この調査結果を授業の改善に役立てます。アンケートの回答内容は成績評価は一切関係しません。真剣で率直な意見を是非開かせてください。（なお、アンケートは、匿名データとして処理されます。）
コース情報	2016 前期木2時限 担当教員:片桐 重和
受付開始日時	2016-06-15 00:00:00
受付終了日時	2016-07-09 00:00:00
提出者	30 件

この課題は受付終了しました。

集計シート

結果・フィードバック

コメントはありません。

編集

大学からの課題・アンケート一覧に戻る

この科目の授業について教えてください

【質問1】 教員の授業の進め方は適切ですか？(板書、パワーポイントあるいは配布プリント、テキストなどを含めて)(選択必須)

1.1 グラフ表示

1.  適切である
2.  ほぼ適切である
3.  どちらとも言えない
4.  やや不適切である
5.  不適切である

【質問2】 教員の話し方は明瞭ですか？(聞き取りやすいですか？)(選択必須)

1.2 グラフ表示

1.  聞き取りやすい
2.  ほぼ聞き取りやすい
3.  どちらとも言えない
4.  やや聞き取りにくい
5.  大変聞き取りにくい

【質問3】 授業はシラバス通りに行われていますか？(選択必須)

1.3 グラフ表示

1.  行われている
2.  ほぼ行われている
3.  どちらとも言えない
4.  やや異なっている
5.  全く異なっている
6.  シラバスを読んでいない

【質問4】 教員は、1講義時間(90分)の授業時間を確保していますか？(選択必須)

1.4 グラフ表示

1.  守っている
2.  ほぼ守っている
3.  どちらとも言えない
4.  やや守っていない
5.  守っていない

https://cerezo.fukuyama-u.ac.jp/ct/home\_bulkquerysurveyresult\_52315\_79719\_65913 2017/04/03

【質問5】 教員は、科目内容を理解しやすくするために工夫していると思いますか？(選択必須)

1.5 

1.  思う
2.  やや思う
3.  どちらとも言えない
4.  あまり思わない
5.  全く思わない

【質問6】 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？(質問したことがない方は、「質問したことがない」を選んでください)(選択必須)

1.6 

1.  誠意をもって答える
2.  ほぼ誠意をもって答える
3.  どちらとも言えない
4.  やや誠意が感じられない
5.  誠意が感じられない
6.  質問したことがない

【質問7】 この科目はやりがいや手応え、また将来に役立つと感じるものですか？(選択必須)

1.7 

1.  大いに感じる
2.  やや感じる
3.  どちらとも言えない
4.  あまり感じない
5.  全く感じない

【質問8】 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください(選択必須)

1.8 

1.  満足
2.  ほぼ満足
3.  どちらとも言えない
4.  やや不満である
5.  不満である

自己について答えてください。

【質問9】 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい手習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。(選択必須)

1.9 

1.  3時間以上
2.  2～3時間未満
3.  1～2時間未満
4.  30分～1時間未満
5.  30分未満

【質問10】 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？(選択必須)

1.10 

1.  全くない
2.  ほとんどない
3.  どちらとも言えない
4.  しばしばある
5.  毎回ある

【質問11】 授業には特別な事情(公認欠席、急引きなど)を除き、出席していますか？(選択必須)

1.11 

1.  全出席
2.  ほぼ出席
3.  ときどき欠席する
4.  やや欠席が多い

5.  欠席が大変多い

【質問1 2】 この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？ (選択必須)

1.12 

1.  大いに深まっている  
 2.  やや深まっている  
 3.  どちらとも言えない  
 4.  あまり深まっていない  
 5.  全く深まっていない

【質問1 3】 あなたは、自ら講義内容を理解するため、ノートや講義の聞き方などの工夫や配慮を行っていますか？ (選択必須)

1.13 

1.  積極的に行っている  
 2.  かなり行っている  
 3.  行おうと思っている  
 4.  あまり行っていない  
 5.  全く行っていない

【質問1 4】 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？ (選択必須)

1.14 

1.  学修が十分進んでおり、質問の必要がない  
 2.  しばしば質問する  
 3.  ときどき質問する  
 4.  質問はあるが、ほとんど質問していない  
 5.  学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない

【質問1 5】 この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？ (選択必須)

1.15 

1.  大いに思う  
 2.  やや思う  
 3.  どちらとも言えない  
 4.  あまり思わない  
 5.  全く思わない

【質問1 6】 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。 (選択必須)

1.16 

1.  十分に成果はあがっている  
 2.  少し成果はあがっている  
 3.  どちらとも言えない  
 4.  あまり成果はあがっていない  
 5.  全く成果はあがっていない

#### 自由記述

この科目の授業について、特に伝えたい意見や要望があれば、自由に記述してください。

1.17

[大学からの課題・アンケート一覧に戻る](#)

平成 28 年度（後期） 授業評価アンケート調査項目

manaba - home

Page 1 of 3

2017-04-03 (Mon)  
片桐 重和 | 設定 | ログアウト

マイページ コース メモ一覧 respon

### 課題集計

Webデザイン:授業評価アンケート【片桐 重和】

課題に関する説明	福山大学では、授業評価およびあなたの自己点検アンケートを定期的に行っています。学生諸君の授業についての意識や要望などを早く把握して、この調査結果を授業の改善に役立てます。アンケートの回答内容は成績評価は一切関係しません。真剣で率直な意見を是非聞かせてください。（なお、アンケートは、匿名データとして処理されます。）
コース情報	2016 後期木2時限 担当教員: 中崎 健明
受付開始日時	2016-11-28 00:00:00
受付終了日時	2017-01-19 00:00:00
提出者	15 件

この課題は受付終了しました。

[集計シート](#)

[結果・フィードバック](#)

コメントはありません。 [編集](#)

[大学からの課題・アンケート一覧に戻る](#)

この科目の授業について教えてください

**【質問1】 授業の準備が適切になされていると思いますか？ (選択必須)**

1.1 [グラフ表示](#)

1.  適切である
2.  ほぼ適切である
3.  どちらとも言えない
4.  やや不適切である
5.  不適切である

**【質問2】 教員の話し方は明瞭ですか？ (聞き取りやすいですか?) (選択必須)**

1.2 [グラフ表示](#)

1.  聞き取りやすい
2.  ほぼ聞き取りやすい
3.  どちらとも言えない
4.  やや聞き取りにくい
5.  大変聞き取りにくい

**【質問3】 授業はシラバス通りに行われていますか？ (選択必須)**

1.3 [グラフ表示](#)

1.  行われている
2.  ほぼ行われている
3.  どちらとも言えない
4.  やや異なっている
5.  全く異なっている
6.  シラバスを読んでいない

**【質問4】 授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？ (選択必須)**

1.4 [グラフ表示](#)

1.  守っている
2.  ほぼ守っている
3.  どちらとも言えない
4.  やや守っていない
5.  守っていない

https://cerezo.fukuyama-u.ac.jp/ct/home\_bulkquerysurveyresult\_94345\_95174\_65061 2017/04/03

【質問5】 教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？(選択必須)

1.5 

- 思う
- やや思う
- どちらとも言えない
- あまり思わない
- 全く思わない

【質問6】 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？(質問したことがない方は、「質問したことがない」を選んでください)(選択必須)

1.6 

- 誠意をもって答える
- ほぼ誠意をもって答える
- どちらとも言えない
- やや誠意が感じられない
- 誠意が感じられない
- 質問したことがない

【質問7】 この科目はやりがいや手応え、また将来に役立つと感じるものですか？(選択必須)

1.7 

- 大いに感じる
- やや感じる
- どちらとも言えない
- あまり感じない
- 全く感じない

【質問8】 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください(選択必須)

1.8 

- 満足
- ほぼ満足
- どちらとも言えない
- やや不満である
- 不満である

自己について答えてください。

【質問9】 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をされましたか？教員が出した課題への取り組みやレポート作成なども含みます。(選択必須)

1.9 

- 3時間以上
- 2～3時間未満
- 1～2時間未満
- 30分～1時間未満
- 30分未満

【質問10】 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？(選択必須)

1.10 

- 全くない
- ほとんどない
- どちらとも言えない
- しばしばある
- 毎回ある

【質問11】 授業には特別な事情(公認欠席、急引きなど)を除き、出席していますか？(選択必須)

1.11 

- 全出席
- ほぼ出席
- ときどき欠席する
- やや欠席が多い

5.  欠席が大変多い

【質問12】 この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？ (選択必須)

1.12 

1.  大いに深まっている
2.  やや深まっている
3.  どちらとも言えない
4.  あまり深まっていない
5.  全く深まっていない

【質問13】 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？ (選択必須)

1.13 

1.  学修が十分進んでおり、質問の必要がない
2.  しばしば質問する
3.  ときどき質問する
4.  質問はあるが、ほとんど質問していない
5.  学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない

【質問14】 この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？ (選択必須)

1.14 

1.  大いに思う
2.  やや思う
3.  どちらとも言えない
4.  あまり思わない
5.  全く思わない

【質問15】 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。 (選択必須)

1.15 

1.  十分に成果はあがっている
2.  少し成果はあがっている
3.  どちらとも言えない
4.  あまり成果はあがっていない
5.  全く成果はあがっていない

#### 自由記述

この科目の授業について、特に伝えたい意見や要望があれば、自由に記述してください。

1.16

[> 大学からの課題・アンケート一覧に戻る](#)



平成28年度前期・後期 授業評価アンケート結果に対する報告書

担当教員	氏名	所属学部・学科		
		学部	学科	
講義名		科目分類 (不要な方を消去する)		受講者数
		共通教育科目	専門科目	名

お手数ですがこの科目のアンケート集計結果を各質問毎に記載してください

質問1 進め方	質問2 話し方	質問3 計画性	質問4 授業時間	質問5 講義の工夫	質問6 質問への誠意	質問7 難易度の適切性	質問8 満足度
質問9 授業の準備	質問10 集中力	質問11 出席状況	質問12 知識の深まり	質問13 受講の工夫	質問14 質問への積極性	質問15 意欲の高まり	質問16 学修の成果

◆アンケート結果の学生へのフィードバック方法

--

◆この講義に対する学生の評価結果について (アンケートの質問1～質問8が該当します)

○高く評価された事項

--

○改善を求められている事項

--

○今後の授業改善の計画

--

◆この講義を受講した学生の自己点検結果について (アンケートの質問9～質問16が該当します)

○学修成果という点でこの結果をどのように考えますか

--

○学生の学修成果を望ましい方向に進展させる方策はありますか

--

### 3. 調査結果

「学生による授業評価アンケート」の集計結果は各科目、学科、学部、全学の単位で集計しており、それぞれの責任者に報告している。本報告書に全てを掲載すると膨大な内容となるため、学部、および全学の単位について掲載することにした。

#### (1) アンケート実施状況について

このアンケート調査は主に授業時間の一部を利用して、学生がスマートフォンなどでCerezo にログインして授業評価アンケートに回答する方式で実施した。授業中に回答できない学生は、休み時間や帰宅後に回答するように依頼した。平成 28 年度前期（表 1-1）、後期（表 1-2）、および通年（表 1-3）のアンケート回答率は、全学でそれぞれ前期が 80.7%、後期が 63.4%、通年で 72.2% となり、通年で 70% を超えていた。しかし、前期に比べ後期で回答率が低下しており、今後改善が必要である。すべての学部、センターで通年 80% を上回る回答率を目指し、教育改革に当たってより全体の学生の回答を反映できるように改善を図りたい。

表 1-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜回答率＞

	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
受講者数	26,669	3,969	1,930	2,867	3,974	9,227	3,775	913	14	0
回答者数	21,518	2,422	1,613	2,460	3,484	7,667	3,113	745	14	0
回答率	80.7%	61.0%	83.6%	85.8%	87.7%	83.1%	82.5%	81.6%	100.0%	0.0%

表 1-2 学生による授業評価アンケート（後期）＜回答率＞

	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
受講者数	25,990	4,155	2,195	2,694	4,126	8,098	3,793	604	35	290
回答者数	16,482	2,113	1,367	1,905	3,025	4,941	2,573	341	34	183
回答率	63.4%	50.9%	62.3%	70.7%	73.3%	61.0%	67.8%	56.5%	97.1%	63.1%

表 1-3 学生による授業評価アンケート（通年）＜回答率＞

	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
受講者数	52,659	8,124	4,125	5,561	8,100	17,325	7,568	1,517	49	290
回答者数	38,000	4,535	2,980	4,365	6,509	12,608	5,686	1,086	48	183
回答率	72.2%	55.8%	72.2%	78.5%	80.4%	72.8%	75.1%	71.6%	98.0%	63.1%

#### (2) 調査結果の内容（学生による授業評価結果について）

##### ① 授業の進め方について

教員の授業の進め方や授業の準備はすべての学部、センターで高く評価されている。全学

の授業の進め方に対する評価平均は 4.43、授業の準備に対する評価は 4.52 と高い評価であった（表 2-1、2-2）。

表 2-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜授業の進め方について＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
【質問1】進行 教員の授業の進め方は適切ですか？	適切である	5	10,986	1,237	1,054	1,191	1,959	3,474	1,623	434	14
	ほぼ適切である	4	7,202	763	415	830	1,098	2,894	982	220	0
	どちらとも書えない	3	2,472	296	113	332	327	937	396	71	0
	やや不適切である	2	602	79	22	68	72	272	75	14	0
	不適切である	1	256	47	9	39	28	90	37	6	0
	平均点		4.43	4.33	4.46	4.29	4.37	4.20	4.40	4.40	5.00

表 2-2 学生による授業評価アンケート（後期）＜授業の準備について＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問1】授業準備 授業の準備が適切になされていると思いますか？	適切である	5	9781	1266	825	1057	1868	2837	1554	234	32	108
	ほぼ適切である	4	4931	583	392	638	852	1626	713	77	2	48
	どちらとも書えない	3	1391	207	123	170	240	373	233	22	0	23
	やや不適切である	2	255	39	15	30	48	72	47	1	0	3
	不適切である	1	123	18	12	10	17	33	25	7	0	1
	平均点		4.52	4.41	4.52	4.43	4.53	4.36	4.47	4.58	4.94	4.42

## ② 話し方について

教員の話し方はすべての学部で 4.0 以上であり高く評価されている（表 3-1、3-2、3-3）。全学の平均評価は通年で 4.38 で平成 27 年度の 4.26 より 0.12 ポイント上昇しており、改善されていることが示された。

表 3-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜話し方について＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
【質問2】話し方 教員の話し方は明確ですか？	聞き取りやすい	5	10,796	1,128	1,075	1,111	1,972	3,475	1,579	442	14
	ほぼ聞き取りやすい	4	6,735	700	380	809	978	2,740	931	197	0
	どちらとも書えない	3	2,546	353	99	338	319	951	403	83	0
	やや聞き取りにくい	2	1,115	168	51	151	165	398	166	16	0
	大変聞き取りにくい	1	326	73	8	51	50	103	34	7	0
	平均点		4.37	4.19	4.55	4.17	4.31	4.15	4.32	4.29	5.00

表 3-2 学生による授業評価アンケート（後期）＜話し方について＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問2】話し方 教員の話し方は明確ですか？	聞き取りやすい	5	8,741	1,194	808	952	1,686	2,394	1,368	229	32	78
	ほぼ聞き取りやすい	4	5,020	536	389	630	868	1,721	738	73	1	64
	どちらとも書えない	3	1,697	237	113	219	288	467	314	28	1	30
	やや聞き取りにくい	2	772	114	39	79	148	263	114	5	0	10
	大変聞き取りにくい	1	251	32	18	25	35	96	38	6	0	1
	平均点		4.38	4.31	4.50	4.25	4.36	4.15	4.31	4.49	4.92	4.14

表3-3 学生による授業評価アンケート（通年）〈話し方について〉

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問2】話し方 教員の話し方は明確ですか？	聞き取りやすい	5	19,537	2,322	1,883	2,063	3,658	5,869	2,947	671	46	78
	ほぼ聞き取りやすい	4	11,755	1,236	769	1,439	1,846	4,461	1,669	270	1	64
	どちらとも言えない	3	4,243	590	212	557	607	1,418	717	111	1	30
	やや聞き取りにくい	2	1,887	282	90	230	313	661	280	21	0	10
	大変聞き取りにくい	1	577	105	26	76	85	199	72	13	0	1
	平均点		4.38	4.25	4.53	4.21	4.34	4.15	4.31	4.39	4.96	4.14

③ 授業の計画性について

授業の計画性はすべての学部、センターで4.3を超える値で高く評価されている。本学における授業がシラバスに基づいて計画的に実施されていると評価できる（表4-1、4-2、4-3）。

表4-1 学生による授業評価アンケート（前期）〈計画性について〉

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
【質問3】計画性 授業はシラバス通りに行われていま すか？	行われている	5	8,788	1,154	779	1,057	1,398	2,731	1,286	370	13
	ほぼ行われている	4	4,601	614	337	665	722	1,399	709	154	1
	どちらとも言えない	3	1,700	272	111	244	231	458	326	58	0
	やや異なっている	2	261	55	17	41	34	62	47	5	0
	全く異なっている	1	65	21	3	8	7	15	9	2	0
	シラバスを踏んでいない	0	6,103	306	366	445	1,092	3,002	736	156	0
	平均点		4.49	4.35	4.43	4.37	4.44	4.44	4.43	4.50	4.93

表4-2 学生による授業評価アンケート（後期）〈計画性について〉

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問3】計画性 授業はシラバス通りに行われていま すか？	行われている	5	7,401	1,160	625	963	1,207	1,942	1,213	169	30	92
	ほぼ行われている	4	3,330	465	327	484	643	728	582	67	4	30
	どちらとも言えない	3	1,053	193	99	148	200	162	207	26	0	18
	やや異なっている	2	189	44	24	23	24	29	35	4	0	6
	全く異なっている	1	52	12	5	9	7	8	9	2	0	0
	シラバスを踏んでいない	0	4,456	239	287	278	944	2,072	526	73	0	37
	平均点		4.51	4.41	4.46	4.43	4.50	4.51	4.48	4.46	4.88	4.42

表4-3 学生による授業評価アンケート（通年）〈計画性について〉

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問3】計画性 授業はシラバス通りに行われていま すか？	行われている	5	16,189	2,314	1,404	2,020	2,605	4,673	2,499	539	43	92
	ほぼ行われている	4	7,931	1,079	664	1,149	1,365	2,127	1,291	221	5	30
	どちらとも言えない	3	2,753	465	210	392	431	620	533	84	0	18
	やや異なっている	2	450	99	41	64	58	91	82	9	0	6
	全く異なっている	1	117	33	8	17	14	23	18	4	0	0
	シラバスを踏んでいない	0	10,559	545	653	723	2,036	5,074	1,262	229	0	37
	平均点		4.50	4.38	4.44	4.40	4.47	4.47	4.46	4.48	4.91	4.42

#### ④ 授業時間について

授業時間については、すべての学部、センターで通年の評価が4.4以上であり、学生から非常に高い評価をえている（表5-1、5-2、5-3）。本学における授業は、開始時間と終了時間が厳密に守られ、90分を確保していると高く評価することができる。

表5-1 学生による授業評価アンケート（前期）〈時間について〉

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
【質問4】 時間 教員は、1講義時間（90分）の授業時間を確保していますか？	守っている	5	14,612	1,526	1,196	1,635	2,491	5,158	2,059	533	14
	ほぼ守っている	4	5,362	639	338	621	797	2,040	759	168	0
	どちらとも言えない	3	1,150	185	63	147	145	372	207	31	0
	やや守っていない	2	267	48	6	44	39	63	57	10	0
	守っていない	1	127	24	10	13	12	34	31	3	0
	平均点		4.64	4.49	4.60	4.59	4.65	4.58	4.54	4.66	5.00

表5-2 学生による授業評価アンケート（後期）〈授業時間について〉

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？	守っている	5	10,996	1,379	866	1,216	2,057	3,461	1,627	253	34	103
	ほぼ守っている	4	4,216	509	382	513	753	1,228	710	67	0	54
	どちらとも言えない	3	981	181	97	136	164	201	169	12	0	21
	やや守っていない	2	191	26	12	31	35	36	44	3	0	4
	守っていない	1	97	18	10	9	16	15	22	6	0	1
	平均点		4.58	4.47	4.56	4.53	4.61	4.55	4.52	4.59	5.00	4.39

表5-3 学生による授業評価アンケート（通年）〈時間・授業時間について〉

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？	守っている	5	25,608	2,905	2,062	2,851	4,548	8,619	3,686	786	48	103
	ほぼ守っている	4	9,578	1,148	720	1,134	1,550	3,268	1,469	235	0	54
	どちらとも言えない	3	2,131	366	160	283	309	573	376	43	0	21
	やや守っていない	2	458	74	18	75	74	99	101	13	0	4
	守っていない	1	224	42	20	22	28	49	53	9	0	1
	平均点		4.61	4.48	4.58	4.56	4.63	4.56	4.53	4.62	5.00	4.39

#### ⑤ 講義の工夫について

担当教員の講義の工夫については、全学（通年）では4.34と高い評価平均であった（表6-1、6-2、6-3）。しかし、今後も継続して授業の工夫、改善に取り組むことが必要である。

表6-1 学生による授業評価アンケート（前期）〈講義の工夫について〉

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするために工夫していると思いますか？	思う	5	9,845	1,082	991	1,060	1,757	3,018	1,534	391	12
	やや思う	4	7,337	737	453	836	1,138	2,930	1,005	236	2
	どちらとも言えない	3	3,060	407	119	374	426	1,246	411	77	0
	あまり思わない	2	956	132	40	134	137	364	116	33	0
	全く思わない	1	320	64	10	56	26	109	47	8	0
	平均点		4.31	4.14	4.42	4.17	4.27	4.07	4.32	4.22	4.86

表6-2 学生による授業評価アンケート（後期）＜講義の工夫について＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするために工夫していると思いますか？	思う	5	8,293	1,138	750	877	1,597	2,261	1,334	215	31	90
	やや思う	4	5,388	583	419	681	917	1,858	783	86	1	60
	どちらとも書えない	3	2,000	269	140	260	367	583	328	23	2	28
	あまり思わない	2	589	89	40	66	111	179	92	8	0	4
	全く思わない	1	211	34	18	21	33	60	35	9	0	1
	平均点		4.37	4.27	4.42	4.23	4.35	4.14	4.32	4.42	4.86	4.28

表6-3 学生による授業評価アンケート（通年）＜講義の工夫について＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくするために工夫していると思いますか？	思う	5	18,138	2,220	1,741	1,937	3,354	5,279	2,868	606	43	90
	やや思う	4	12,725	1,320	872	1,517	2,055	4,788	1,788	322	3	60
	どちらとも書えない	3	5,060	676	259	634	793	1,829	739	100	2	28
	あまり思わない	2	1,545	221	80	200	248	543	208	41	0	4
	全く思わない	1	531	98	28	77	59	169	82	17	0	1
	平均点		4.34	4.21	4.42	4.20	4.31	4.11	4.32	4.32	4.86	4.28

⑥ 質問への誠意について

学生からの質問への誠意については、全学（通年）では 4.42 と高い評価であった（表 7-1、7-2、7-3）。平成 27 年度の 4.31 より 0.11 ポイント上昇した。学生の質問に対する教員の真摯な対応が評価されたと考えられる。

表7-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜質問への誠意について＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
【質問6】 質問への対応 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	6,261	872	725	747	977	1,652	1,023	251	14
	ほぼ誠意をもって答える	4	3,034	412	240	425	452	918	482	105	0
	どちらとも書えない	3	1,769	305	90	248	253	518	280	75	0
	やや誠意が感じられない	2	260	55	12	27	29	91	33	13	0
	誠意が感じられない	1	119	21	1	25	7	46	15	4	0
	質問したことがない	0	10,075	757	545	988	1,766	4,442	1,280	297	0
	平均点		4.42	4.27	4.57	4.19	4.40	4.25	4.36	4.34	5.00

表7-2 学生による授業評価アンケート（後期）＜質問への誠意について＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	誠意をもって答える	5	5,229	949	567	679	799	983	1,039	151	29	33
	ほぼ誠意をもって答える	4	2,141	337	220	325	384	421	386	42	5	21
	どちらとも書えない	3	1,215	236	116	188	199	220	218	24	0	14
	やや誠意が感じられない	2	183	36	13	20	30	34	40	5	0	5
	誠意が感じられない	1	101	15	10	12	23	24	14	3	0	0
	質問したことがない	0	7,612	540	441	681	1,590	3,259	875	116	0	110
	平均点		4.41	4.34	4.47	4.38	4.40	4.26	4.43	4.44	4.85	4.12

表7-3 学生による授業評価アンケート（通年）〈質問への誠意について〉

【質問6】 質問への誠意	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
		誠意をもって答える	5	11,490	1,821	1,292	1,426	1,776	2,635	2,062	402	43
教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	毎日誠意をもって答える	4	5,175	749	460	750	836	1,339	868	147	5	21
	どちらとも書えない	3	2,984	541	206	436	452	738	498	99	0	14
	やや誠意が感じられない	2	443	91	25	47	59	125	73	18	0	5
	誠意が感じられない	1	220	36	11	37	30	70	29	7	0	0
	質問したことがない	0	17,687	1,297	986	1,669	3,356	7,701	2,155	413	0	110
	平均点		4.42	4.30	4.52	4.29	4.40	4.26	4.40	4.39	4.93	4.12

⑦ 難易度の適切性について

難易度の適切性については、全学（通年）の評価平均は 4.20 であった（表 8-1、8-2、8-3）。理系、文系学部、センター間の差はほとんど見られない。評価平均が 4.20 で十分に高い評価といえるが、他の調査項目と比較すると例年通り低い評価であった。今後も継続して工夫や改善を行っていくことが重要である。

表8-1 学生による授業評価アンケート（前期）〈難易度の適切性について〉

【質問7】 難易の適切性	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
		大いに感じる	5	7,761	934	757	930	1,323	2,544	1,029	230	14
この科目はやりがいや手応え、また将来に役立つと感じるものですか？	やや感じる	4	8,894	871	604	924	1,455	3,560	1,178	302	0	
	どちらとも書えない	3	3,697	455	183	452	552	1,254	644	157	0	
	あまり感じない	2	846	110	55	105	119	234	186	37	0	
	全く感じない	1	320	52	14	49	35	75	76	19	0	
	平均点		4.21	4.11	4.30	4.09	4.11	4.08	4.01	4.02	5.00	

表8-2 学生による授業評価アンケート（後期）〈難易度の適切性について〉

【質問7】 難易の適切性	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
		大いに感じる	5	6,406	986	535	793	1,118	1,796	976	131	29
この科目はやりがいや手応え、また将来に役立つと感じるものですか？	やや感じる	4	6,669	699	531	745	1,279	2,235	979	130	4	67
	どちらとも書えない	3	2,628	330	212	290	487	754	438	59	1	57
	あまり感じない	2	548	74	58	60	107	116	108	12	0	13
	全く感じない	1	230	24	31	17	34	40	71	9	0	4
	平均点		4.18	4.24	4.15	4.15	4.16	4.06	4.10	4.22	4.82	3.71

表8-3 学生による授業評価アンケート（通年）〈難易度の適切性について〉

【質問7】 難易の適切性	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
		大いに感じる	5	14,167	1,920	1,292	1,723	2,441	4,340	2,005	361	43
この科目はやりがいや手応え、また将来に役立つと感じるものですか？	やや感じる	4	15,563	1,570	1,135	1,669	2,734	5,795	2,157	432	4	67
	どちらとも書えない	3	6,325	785	395	742	1,039	2,008	1,082	216	1	57
	あまり感じない	2	1,394	184	113	165	226	350	294	49	0	13
	全く感じない	1	550	76	45	66	69	115	147	28	0	4
	平均点		4.20	4.17	4.22	4.12	4.14	4.07	4.05	4.12	4.91	3.71

### ⑧ 講義の満足度について

講義に対する満足度は、授業評価 8 項目の中で最も低い評価であり、通年全学の評価平均 4.18 であった（表 9-1、9-2、9-3）。しかしながら、平成 27 年度の 3.94 よりも 0.24 ポイントも改善しており、教員の努力が数値改善に繋がったと考えられる。

評価は学部、センター間に大きな差は認められない。満足度の評価が低いのは、講義内容の難易度の適切性と関係がある可能性が指摘される。評価平均ではなく個々の授業科目について詳細に解析することで相関性を見出すことが可能かもしれない。学修の目的や意義を十分に学生に説明することも満足度の改善につながると考えられる。

表 9-1 学生による授業評価アンケート（前期）＜講義の満足度について＞

【質問8】 講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	満足	5	7,176	879	741	738	1,251	2,263	1,045	246	13
ほぼ満足	4	8,870	857	625	1,003	1,506	3,345	1,218	315	1	
どちらとも言えない	3	4,182	488	187	531	586	1,584	658	148	0	
やや不満である	2	908	129	39	133	103	348	132	24	0	
不満である	1	382	69	21	55	38	127	60	12	0	
平均点		4.15	4.01	4.21	3.97	4.06	3.94	4.08	4.01	4.93	

表 9-2 学生による授業評価アンケート（後期）＜講義の満足度について＞

【質問8】 講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	満足	5	6,236	949	539	678	1,157	1,659	995	167	30
ほぼ満足	4	6,602	666	527	769	1,256	2,208	993	112	3	68
どちらとも言えない	3	2,850	389	234	363	464	860	447	43	1	49
やや不満である	2	545	77	41	70	114	146	84	9	0	4
不満である	1	248	32	26	25	34	68	53	10	0	0
平均点		4.20	4.14	4.18	4.05	4.17	3.99	4.12	4.30	4.85	4.03

表 9-3 学生による授業評価アンケート（通年）＜講義の満足度について＞

【質問8】 講義の満足度 この科目に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	満足	5	13,412	1,828	1,280	1,416	2,408	3,922	2,040	413	43
ほぼ満足	4	15,472	1,523	1,152	1,772	2,762	5,553	2,211	427	4	68
どちらとも言えない	3	7,032	877	421	894	1,050	2,444	1,105	191	1	49
やや不満である	2	1,453	206	80	203	217	494	216	33	0	4
不満である	1	630	101	47	80	72	195	113	22	0	0
平均点		4.18	4.07	4.19	4.01	4.11	3.97	4.10	4.16	4.89	4.03

### （3）調査結果の内容（学生の自己点検）

#### ① 授業の準備について

講義に臨むにあたり、授業の予習や復習をする学生の割合は極めて低く、30 分以下の学生が最多となっている（表 10-1、10-2、10-3）。予習と復習の習慣を身につけさせることによって、単位の実質化を図る方策の早急な実施が求められる。宿題を課す、あるいは授業開



始時に前回授業内容の確認試験を行うなどの手法を導入し、予習や復習の習慣づけを行っていることから始めることが必要である。また、e-Learning コンテンツの充実化なども予習・復習のサポートとして重要であると考えられる。

表 10-1 学生による自己点検アンケート（前期）＜授業の準備について＞

【質問9】 授業の準備	回答		全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	3時間以上	5	726	143	82	99	56	255	69	15	7	
この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか。	2～3時間未満	4	1,028	147	93	116	129	423	95	24	1	
	1～2時間未満	3	2,817	347	233	297	385	1,189	294	68	4	
	30分～1時間未満	2	5,732	582	477	620	899	2,199	806	148	1	
	30分未満	1	11,215	1,203	728	1,328	2,015	3,601	1,849	490	1	
	平均点		2.06	2.10	1.99	1.80	1.62	1.86	1.66	1.56	3.86	

表 10-2 学生による自己点検アンケート（後期）＜授業の準備について＞

【質問9】 関連学習	回答		全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	3時間以上	5	763	207	41	117	78	139	147	14	13	7
この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	2～3時間未満	4	815	160	82	99	103	219	132	14	3	3
	1～2時間未満	3	2,143	264	207	254	331	688	345	34	10	10
	30分～1時間未満	2	4,453	551	402	512	904	1,322	660	80	6	16
	30分未満	1	8,307	931	635	923	1,609	2,573	1,288	199	2	147
	平均点		2.02	2.20	1.93	1.96	1.76	1.70	1.96	1.66	3.58	1.40

表 10-3 学生による自己点検アンケート（通年）＜授業の準備について＞

【質問9】 関連学習	回答		全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	3時間以上	5	1,489	350	123	216	134	394	216	29	20	7
この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	2～3時間未満	4	1,843	307	175	215	232	642	227	38	4	3
	1～2時間未満	3	4,960	611	440	551	716	1,877	639	102	14	10
	30分～1時間未満	2	10,185	1,133	879	1,132	1,803	3,521	1,466	228	7	16
	30分未満	1	19,522	2,134	1,363	2,251	3,624	6,174	3,137	689	3	147
	平均点		2.04	2.15	1.96	1.88	1.69	1.78	1.81	1.61	3.72	1.40

## ② 集中力について

授業への集中力については、いずれの学部においても 3.0 を上回っている（表 11-1、11-2、11-3）。この調査項目は集中力が「全くない」が 5、「毎回ある」が 1 となっており、授業に対する学生の集中力が低いことが示されている。学生が主体的に参加する授業方法の導入など、学生の集中力を高めるための工夫が教員側に求められる。

表 11-1 学生による自己点検アンケート（前期）＜集中力について＞

【質問10】 集中力	回答		全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	全くない	5	6,126	654	305	576	794	2,754	851	184	8	
授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	ほとんどない	4	7,658	769	580	763	1,316	2,979	973	273	5	
	どちらとも思えない	3	4,600	597	430	605	804	1,261	745	157	1	
	しばしばある	2	2,531	331	233	408	468	550	441	100	0	
	毎回ある	1	603	71	65	108	102	123	103	31	0	
	平均点		3.80	3.81	3.57	3.62	3.60	3.97	3.82	3.52	4.50	

表 11-2 学生による自己点検アンケート（後期）〈集中力について〉

【質問10】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	全くない	5	5,167	731	264	562	782	1,847	811	122	16
ほとんどない	4	6,002	661	488	638	1,170	2,001	843	128	15	58
どちらとも書えない	3	3,302	458	368	425	670	709	565	54	3	50
しばしばある	2	1,608	214	211	219	331	300	271	32	0	30
毎回ある	1	402	49	36	61	72	84	82	5	0	13
平均点		3.85	3.86	3.58	3.72	3.83	3.98	3.94	3.99	4.39	3.36

表 11-3 学生による自己点検アンケート（通年）〈集中力について〉

【質問10】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	全くない	5	11,293	1,385	569	1,138	1,576	4,601	1,662	306	24
ほとんどない	4	13,660	1,430	1,068	1,401	2,486	4,980	1,816	401	20	58
どちらとも書えない	3	7,902	1,055	798	1,030	1,474	1,970	1,310	211	4	50
しばしばある	2	4,139	545	444	627	799	850	712	132	0	30
毎回ある	1	1,005	120	101	169	174	207	185	36	0	13
平均点		3.83	3.84	3.57	3.67	3.71	3.97	3.88	3.76	4.44	3.36

### ③ 出席状況について

授業への出席状況は、本調査の設問項目の中でもっとも高く、全学通年では4.48であった（表 12-1、12-2、12-3）。学部、センター間に大きな差はなく、すべて高い評価であった。これは、本学の学生が真面目に授業に出席していることを示している。また、出席確認を厳密に行って3回欠席した学生の担任へ連絡を入れるという教務委員会の方針、授業の3分の1を超えて欠席した場合には定期試験を受験できないという本学の学則に拠るところが大きい。

表 12-1 学生による自己点検アンケート（前期）〈出席状況について〉

【質問11】 出席状況 授業には特別な事情を除き、出席していますか？	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	全出席	5	15,017	1,205	983	1,529	2,152	6,590	2,073	475	10
ほぼ出席	4	4,520	782	436	642	932	850	708	166	4	
ときどき欠席する	3	1,420	326	132	194	284	174	240	70	0	
やや欠席が多い	2	408	73	49	64	88	45	70	19	0	
欠席が大変多い	1	153	36	13	31	28	8	22	15	0	
平均点		4.53	4.27	4.45	4.47	4.48	4.82	4.53	4.49	4.72	

表 12-2 学生による自己点検アンケート（後期）〈出席状況について〉

【質問11】 出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	全出席	5	10,300	960	697	1,106	1,622	4,182	1,392	200	31
ほぼ出席	4	4,241	734	410	564	993	631	762	90	3	54
ときどき欠席する	3	1,337	278	172	154	293	106	292	31	0	11
やや欠席が多い	2	436	113	58	59	81	17	86	17	0	5
欠席が大変多い	1	167	28	30	22	36	5	40	3	0	3
平均点		4.44	4.12	4.23	4.41	4.40	4.74	4.32	4.41	4.91	4.44

表 12-3 学生による自己点検アンケート（通年）＜出席状況について＞

【質問11】出席状況 授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	全出席	5	25,317	2,165	1,680	2,635	3,774	10,772	3,465	675	41
ほぼ出席	4	8,761	1,516	846	1,206	1,925	1,481	1,470	256	7	54
ときどき欠席する	3	2,757	604	304	348	577	280	532	101	0	11
やや欠席が多い	2	844	186	107	123	169	62	156	36	0	5
欠席が大変多い	1	320	64	43	53	64	13	62	18	0	3
平均点		4.48	4.20	4.34	4.44	4.44	4.78	4.42	4.45	4.81	4

④ 知識の深まりについて

受講により知識の深まりを感じている学生の割合は比較的高く、全学通年で評価平均は4.12であった（表 13-1、13-2、13-3）。また、すべての学部、センターで4.0を超えており、平均値3.0に比べ十分に知識の深まりを感じていると評価できる。

表 13-1 学生による自己点検アンケート（前期）＜知識の深まりについて＞

【質問12】知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	大いに深まっている	5	6,335	760	615	729	1,115	2,048	848	207	13
やや深まっている	4	10,495	985	747	1,121	1,767	4,024	1,482	368	1	
どちらとも言えない	3	3,639	513	202	448	478	1,287	577	134	0	
あまり深まっていない	2	792	121	42	124	98	233	147	27	0	
全く深まっていない	1	257	43	7	38	26	75	59	9	0	
平均点		4.16	4.04	4.19	4.02	4.08	4.00	4.02	4.04	4.93	

表 13-2 学生による自己点検アンケート（後期）＜知識の深まりについて＞

【質問12】知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	大いに深まっている	5	5,522	822	461	670	991	1,517	863	132	22
やや深まっている	4	7,619	801	625	854	1,456	2,535	1,120	145	9	74
どちらとも言えない	3	2,636	382	216	307	445	734	449	48	3	52
あまり深まっていない	2	495	73	36	56	105	117	91	8	0	9
全く深まっていない	1	209	35	29	18	28	38	49	8	0	4
平均点		4.12	4.07	4.12	4.07	4.12	4.01	4.10	4.23	4.56	3.79

表 13-1 学生による自己点検アンケート（前期）＜知識の深まりについて＞

【質問12】知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
	大いに深まっている	5	11,857	1,582	1,076	1,399	2,106	3,565	1,711	339	35
やや深まっている	4	18,114	1,786	1,372	1,975	3,223	6,559	2,602	513	10	74
どちらとも言えない	3	6,275	895	418	755	923	2,021	1,026	182	3	52
あまり深まっていない	2	1,287	194	78	180	203	350	238	35	0	9
全く深まっていない	1	466	78	36	56	54	113	108	17	0	4
平均点		4.14	4.06	4.15	4.05	4.10	4.00	4.06	4.13	4.75	3.79

⑤ 受講時の工夫について

受講するにあたり、個々の学生が自分に適した工夫をしている割合は低く、全学通年の評価平均は 3.69 であった（表 14-1）。平成 27 年度の 3.51 よりも 0.18 ポイント上昇している。学生の意識の向上、および教員の指導の結果と考えられる。

「積極的に行っている」と「かなり行っている」を合わせると 52%、「行おうと思っている」、「あまり行っていない」、「全く行っていない」を合わせると 44%で、行っている学生と行っていない学生がほぼ半数ずつであった。個別回答では「行おうと思っている」という回答が 34%で最も多かった。これは、意欲を持ちながらも、どのようにすればよいのか困惑している状態と判断される。この状態の学生は学修方法を適切にアドバイスすることによって改善する可能性が高い。

表 14-1 学生による自己点検アンケート（前期）＜受講の工夫について＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
【質問 13】 受講の工夫 あなたは、自ら講義内容を理解するため、ノートや講話の聞き方などの工夫や配慮を行っていますか？	積極的に行っている	5	5,698	701	435	570	836	2,320	661	162	13
	かなり行っている	4	5,537	598	377	527	898	2,234	711	191	1
	行おうと思っている	3	7,397	781	534	890	1,269	2,558	1,104	261	0
	あまり行っていない	2	2,091	226	187	334	381	412	454	97	0
	全く行っていない	1	795	116	80	139	100	143	183	34	0
	平均点		3.69	3.72	3.53	3.54	3.51	3.77	3.38	3.12	4.93

⑥ 質問への積極性について

通年全学で「学修が十分進んでおり、質問の必要がない」学生は 26%である。また、「質問はあるが、ほとんど質問していない」、「質問すべきことがみつからない」と回答する学生がそれぞれ 39%、10%で合計するとほぼ半数であった。（表 14-1、14-2、14-3）。特に、「質問はあるが、ほとんど質問していない」と回答した学生が最も多いことから、教員側から積極的な声掛けを行っていく必要があると考えられる。

表 15-1 学生による自己点検アンケート（前期）＜質問への積極性について＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
【質問 14】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	積極的に質問している	5	5,310	718	507	625	930	1,346	930	243	11
	しばしば質問する	4	1,962	295	224	255	251	607	260	68	2
	ときどき質問する	3	3,602	421	313	430	492	1,242	589	114	1
	質問したいと思うことはあるが、実際に質問しない	2	8,600	823	488	986	1,513	3,455	1,070	265	0
	質問したいと思うことはなく、実際に質問しない	1	2,044	165	81	164	298	1,017	264	55	0
	平均点		3.34	3.31	3.45	3.04	2.92	2.67	3.28	3.31	4.72

表 15-2 学生による自己点検アンケート（後期）＜質問への積極性について＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問13】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	大いに思う	5	4,582	765	379	565	841	1,025	803	125	14	65
	しばしば質問する	4	1,501	259	178	253	200	258	292	40	10	11
	ときどき質問する	3	2,361	308	293	310	386	531	470	43	10	10
	ほとんど質問しない	2	6,296	646	444	675	1,288	2,296	790	108	0	49
	全く質問しない	1	1,741	135	73	102	310	831	217	25	0	48
	平均点		3.26	3.40	3.29	3.20	2.95	2.69	3.34	3.38	4.11	2.98

表 15-3 学生による自己点検アンケート（通年）＜質問への積極性について＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問13】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	大いに思う	5	9,892	1,483	886	1,190	1,771	2,371	1,733	368	25	65
	しばしば質問する	4	3,463	554	402	508	451	865	552	108	12	11
	ときどき質問する	3	5,963	729	606	740	878	1,773	1,059	157	11	10
	ほとんど質問しない	2	14,896	1,469	932	1,661	2,801	5,751	1,860	373	0	49
	全く質問しない	1	3,785	300	154	266	608	1,848	481	80	0	48
	平均点		3.30	3.35	3.37	3.12	2.94	2.68	3.31	3.34	4.41	2.98

⑦ 学修への意欲の高まりについて

受講による学修意欲の高まりについては平均値 3.0 を上回り、評価平均値は全学通年で 3.94 であった。平成 27 年度の 3.84 より 0.1 ポイント上昇している。本学の授業が知的好奇心を喚起していることが示唆される。

表 16-1 学生による自己点検アンケート（前期）＜意欲の高まりについて＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
【質問15】 意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	5,387	646	541	628	958	1,798	658	146	12
	やや思う	4	8,701	831	650	899	1,448	3,438	1,149	285	1
	どちらとも思えない	3	5,531	681	309	687	806	1,917	902	228	1
	あまり思わない	2	1,402	179	88	179	212	401	281	62	0
	全く思わない	1	497	85	25	67	60	113	123	24	0
	平均点		3.94	3.81	4.02	3.82	3.84	3.84	3.71	3.67	4.79

表 16-2 学生による自己点検アンケート（後期）＜意欲の高まりについて＞

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問14】 意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	4,770	761	381	591	854	1,312	713	101	23	34
	やや思う	4	6,536	701	514	728	1,218	2,222	960	121	10	62
	どちらとも思えない	3	3,931	506	338	452	705	1,149	637	81	0	63
	あまり思わない	2	868	95	89	100	176	196	166	28	1	17
	全く思わない	1	376	50	45	34	72	62	96	10	0	7
	平均点		3.94	3.98	3.88	3.85	3.91	3.84	3.84	3.96	4.62	3.54

表 16-3 学生による自己点検アンケート（通年） <意欲の高まりについて>

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問14】意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いませんか？	大いに思う	5	10,157	1,407	922	1,219	1,812	3,110	1,371	247	35	34
	やや思う	4	15,237	1,532	1,164	1,627	2,666	5,660	2,109	406	11	62
	どちらとも書えない	3	9,462	1,187	647	1,139	1,511	3,066	1,539	309	1	63
	あまり思わない	2	2,270	274	177	279	388	597	447	90	1	17
	全く思わない	1	873	135	70	101	132	175	219	34	0	7
	平均点		3.94	3.90	3.95	3.83	3.87	3.84	3.78	3.82	4.70	3.54

⑧ 学習の成果について

学習の成果を問うこの設問に対して、全学通年で評価平均値が 4.04 と 4 を超えていることは高く評価できる。しかしながら、「少し成果は上がっている」という回答が最も多く、一層の努力が学生および教員に求められるところである。

表 17-1 学生による自己点検アンケート（前期） <学習の成果について>

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター
【質問16】学習の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	5,117	663	493	575	859	1,626	718	171	12
	少し成果はあがっている	4	10,447	997	819	1,111	1,774	3,950	1,421	373	2
	どちらとも書えない	3	4,698	572	239	569	683	1,694	778	163	0
	あまり成果はあがっていない	2	955	140	50	161	138	311	133	22	0
	全く成果はあがっていない	1	301	50	12	44	30	86	63	16	0
	平均点		4.05	3.92	4.08	3.87	3.90	3.87	3.93	3.92	4.86

表 17-2 学生による自己点検アンケート（後期） <学習の成果について>

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問15】学修の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	4,646	789	373	579	754	1,249	732	108	18	44
	少し成果はあがっている	4	7,811	794	644	872	1,556	2,522	1,168	171	14	70
	どちらとも書えない	3	3,218	426	280	370	569	964	508	43	2	56
	あまり成果はあがっていない	2	568	73	41	59	111	162	106	8	0	8
	全く成果はあがっていない	1	238	31	29	25	35	44	58	11	0	5
	平均点		4.03	4.05	3.99	4.00	3.98	3.90	4.00	4.07	4.47	3.77

表 17-3 学生による自己点検アンケート（通年） <学習の成果について>

	回答	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共同利用センター	国際センター	社会連携センター	
【質問15】学修の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	9,763	1,452	866	1,154	1,613	2,875	1,450	279	30	44
	少し成果はあがっている	4	18,258	1,791	1,463	1,983	3,330	6,472	2,589	544	16	70
	どちらとも書えない	3	7,916	998	519	939	1,252	2,658	1,286	206	2	56
	あまり成果はあがっていない	2	1,523	213	91	220	249	473	239	30	0	8
	全く成果はあがっていない	1	539	81	41	69	65	130	121	27	0	5
	平均点		4.04	3.98	4.04	3.94	3.94	3.89	3.97	4.00	4.67	3.77

#### 4. アンケート結果に対する学部・学科の報告書

本学では、学科単位でカリキュラムを編成しており、授業の点検・評価を学科単位で行うことが適切である。平成28年度にアンケート調査を実施した各学科の科目について、学科長に報告書の作成を依頼した。以下に各学科より提出された報告書を転載する。

##### <経済学部 経済学科>

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：平成28年6月15日（水）～7月9日（土）

後期：平成28年11月28日（月）～平成29年1月19日（木）

【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1人当たり前期・後期のいずれも原則2科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、経済学科では前期36科目、後期36科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する8項目、学生自身の学習点検に関して前期8項目、後期7項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

調査結果は前・後期ともに Cerezo を利用して集計を行った。調査結果は前・後期ともに Cerezo を利用して集計を行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する8項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。経済学科の教員の板書、話し方、計画性等の授業技術は十分に高いレベルを有していると判断できる。

分析結果を踏まえた改善方策：経済学科の教員の授業技術について、学生は標準以上の評価をしているが、今後も一層の改善努力を試みる予定である。全般的に評価が高くても、常に改善の余地が存在する。

#### ◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：「授業の準備」の自己評価が顕著に低くなっている。学生の自己点検の部分にはまだ改善の余地があると言える。

分析結果を踏まえた改善方策：全学的に取り組んでいる準備学習の充実への努力を継続する必要がある。また、学生に対してアルバイトの時間が過多にならないように指導して、準備学習のための時間とエネルギーを確保することが肝要である。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は90%（前期86%、後期94%）であった。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、または定期試験実施時に当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### <意見・提案>

- (1) より正確な授業評価を得るために、授業評価アンケートの実施期間をできる限り授業の最終日に近づけたほうが望ましい。
- (2) 授業開始当初と、授業終了前での「学生ができるようになったこと」の比較を明確にできれば、より学生の学習意欲を引き出せるのではないかと思われる。

#### 【9】総括

今回のアンケート調査では、本学における授業の実施と学生の学修成果の実態を表す結果が得られたと考えている。何回かリマインダーを送った成果で、授業評価アンケート実施報告書の提出率は90%（前期86%、後期94%）と、昨年の79%から大幅に改善した。今後もこれを維持していきたい。

#### <経済学部 国際経済学科>

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。



【1】実施期間 前期：平成 28 年 6 月 15 日（水）～7 月 9 日（土）

後期：平成 28 年 11 月 28 日（月）～平成 29 年 1 月 19 日（木）

## 【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも原則 2 科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、国際経済学科では前期 16 科目、後期 22 科目について調査を行った。

## 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関して前期 8 項目、後期 7 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

## 【4】調査結果の集計

調査結果は前・後期ともに Cerezo を利用して集計を行った。。

## 【5】調査結果に対する点検

### ◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：全体的に回答者数が多い科目ほど評価が低い傾向にある。教員の努力により回答率は 64%と全学平均よりも高いが、非常勤（客員教授）でアンケートに協力していただけなかった教員が 1 名おり、学科の平均点を下げている。アンケートを実施し、高い評価を受けている学科教員には申し訳ない結果となった。この教員を除いて再計算すると質問 1～8 の平均点は 4.53 となり、質問 1～8 の各項目についても全学平均や学部平均を上回っている。特に評価が高いのは、質問 2「話し方」質問 5「講義の工夫」質問 7「難易の適切性」質問 8「講義の満足度」であった。質問 3「計画性」質問 6「質問への誠意」に関しては改善の余地がある。

### ◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：【5】と同様の方法により分析すると、質問 9～15 の平均は 3.76 と全学平均 3.66 を上回っている。しかし、質問 11「出席状況」については 4.21 と全学平均を大きく下回っている。また、質問 10「集中力」についても全学平均は上回ったものの評価が低い。

分析結果を踏まえた改善方策：「出席状況」については早急に対応が必要である。3 分の 1 までは欠席できると勘違いしている学生が一部にいることは事実である。特にミクロ経済学、マクロ経済学、基礎簿記などの科目は必修科目であり欠席するとついていけない。

学部・学科のオリエンテーション等で繰り返し注意を促し、1年次から出席の習慣をつけさせる指導する。「集中力」に関しては、大人数での講義において低下しがちである。ただ講義を聴き板書するという一方的な授業から双方向型授業への変換が必要であり、学部・学科教員間で授業方法についての勉強会等を実施する必要がある。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

教員へのフィードバックの方法は適切であると思われる。時期的にもう少し早いと授業中に学生へのフィードバックができる。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

大部分の教員が最後の授業で学生にフィードバックを行った。一部教員は結果の入手が最後の授業に間に合わず、セレッソやゼルコバを通じてフィードバックを行った。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### <意見・提案>

- (1) 授業の人数をもう少し絞らないと改善は難しい。
- (2) 質問を促す授業の方法、アクティブラーニング、課題、発表を取り入れたいと考える教員が多い。
- (3) 各授業の最後に授業内容について感想コメントを書いてもらう。
- (4) 学生の学力差が大きいと、双方の学生を飽きさせない工夫が必要。
- (5) 配布している講義資料（PPT）の容量はゼルコバやセレッソにアップできないのは残念である。しかし、事前予習及び履修効果を高めるため、今後外部サーバ利用を工夫している。
- (6) 学生に問題意識を持たせ、問題解決型の授業を開発することが必要である。

#### 【9】総括

今回2科目を対象にしたことにより、「授業評価アンケート」「学生の自己点検」ともに、同一教員の授業であっても受講者数の多い科目においては低い評価がなされることが明白となった。また、大人数の授業では「集中力」を保つことが難しいことも結果から見て取れる。大教室においても一方通行にならない授業方法を模索し、学生の「集中力」を保つ工夫が求められる。

このアンケート結果を見て満足したり、悲観したりするのではなく、このアンケート結果をきっかけとして学部・学科の教員間で授業改善を図り、学生満足を高めることが必要である。

## <経済学部 税務会計学科>

平成 28 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】実施期間 前期：平成 28 年 6 月 15 日（水）～7 月 9 日（土）  
後期：平成 28 年 11 月 28 日（月）～平成 29 年 1 月 19 日（木）

### 【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも原則 2 科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、経済学科では前期 15 科目、後期 18 科目について調査を行った。

### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関して前期 8 項目、後期 7 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

### 【4】調査結果の集計

調査結果は前・後期ともに Cerezo を利用して集計を行った。

### 【5】調査結果に対する点検

#### ◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する 7 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7 項目のいずれも学部平均を超える数値を示しており、総合的満足度を問う設問 8 では 4.26、【質問 1】～【質問 8】の平均 4.44 と、学部平均と全学平均のいずれもを上回っていることが、本学科教員の授業技術の高さを示している。分析結果を踏まえた改善方策：「まだまだ、たくさんの販売管理論の事について学びたい」、「1 年生のうちに絶対簿記 3 級を取得して見せます。」という意欲的なコメントがある一方で、「字が汚い」、「ついていけない」、「資料のアップが遅い」という意見もあり、話し方の改善や、時間外学修の増加、講義資料を改善しできるだけ速やかに Cerezo へのアップロードを行うなど、学生の理解度を高めていく努力をするよていである。

#### ◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：質問 11 の「出席状況」をのぞくすべての項目が学部および全学平均を上回っていることから、意欲のある学生がしっかりと学修していることがうかがえる。欠席状況の問題や回答率の低さは学生の両極分化を示す結果となっている。

分析結果を踏まえた改善方策：単位取得不足や放棄の多い4年生の出席状況が悪いことが挙げられる。課外学習の重要性やカリキュラムの再検討などを行い、学生の学習意欲の向上に努めることが重要である。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求めたが、1名を除き、すべての専任教員は提出された。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、または定期試験実施時に当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### <意見・提案>

- (1) 学生の時間外学習を増加させる
- (2) 学科によっては、「基礎簿記」を必修から外すことを検討する必要がある。

#### 【9】総括

今回のアンケート調査では、基本的に学科の実態を表す結果が得られたと考えている。今後、授業アンケートへの参加を促進する一方、学生の学習意欲の向上を図るための教員努力とそれをサポートする講義環境・設備の整備が一層必要であると考えられる。

#### <人間文化学部 心理学科>

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】実施期間 前期：平成28年6月15日（水）～7月9日（土）  
後期：平成28年11月28日（月）～平成29年1月19日（木）

#### 【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1人当たり前期・後期のいずれも原則2科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、心理学科では前期14科目、後期

10 科目について調査を行った。

### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関して前期 8 項目、後期 7 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

### 【5】調査結果の集計

調査結果は外部（リョービシステムズ㈱）に集計作業を委託した。後期は Cerezo を利用して集計を行った。

### 【5】調査結果に対する点検

#### ◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：前期、後期とも、ほとんどの項目で全学平均よりも高い数値となっており、心理学科の教員はシラバスに沿って、適切な授業を実施していると言える。また、学生が満足する学習内容を提供できている。

#### ◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析： 授業評価と比べると全般に数値が低い。

分析結果を踏まえた改善方策： 学習時間の確保、積極的に質問できる方策として、小テストの実施等を検討していく必要がある。また、これらの項目の数値の高い教員の方法を教員間で共有していく。

### 【6】教員へのフィードバックについて

各教員にアンケート結果をフィードバックし、学科の結果について改善点を検討した。

### 【7】学生へのフィードバックについて

各教員が授業時間等を利用して、学生に結果をフィードバックした。

### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

#### <意見・提案>

- （1）学習時間の確保のために、予習した内容について小テストを実施する。
- （2）積極的に質問ができるような工夫として、セレッソの活用を考える。

## 【9】総括

心理学科は前期、後期とも全学平均と比べると高い数値であるが、自己学習に平均値が低い項目があるため、これらの点についての対応をしていくことが必要である。

### <人間文化学部 人間文化学科>

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：平成28年6月15日（水）～7月9日（土）

後期：平成28年11月28日（月）～平成29年1月19日（木）

### 【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1人当たり前期・後期のいずれも原則2科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、人間文化学科では前期9科目、後期28科目について調査を行った。

### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する8項目、学生自身の学習点検に関して前期8項目、後期7項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

### 【4】調査結果の集計

調査結果は前・後期ともにCerezoを利用して集計を行った。

### 【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：授業形態により、評価のバラツキがあるが、学科全体として、全学、学部の平均に決して劣るものではない。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：例年、学生の自己点検の値は低いが、プレゼンテーションやレポートといった達成感が得られるものは、講義の最後で完成させることが多いことが原因と考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：全ての講義終了後にアンケートを行い、前期は後期に、後期は翌年前期にフィードバックする形式に変更する。

【6】教員へのフィードバックについて

全員のデータを添付ファイルで送信した。

【7】学生へのフィードバックについて

講義内、ゼルコバ、セレッソ、定期試験中等、様々な方法でフィードバックしている。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 公正なアンケートという観点からも、きちんと受講した学生のみがアンケートに答えられる体制を構築すべきである。

【9】総括

報告書からは、結果の数値がどうであれ、学科教員全て、非常勤の先生がたも含めて、アンケート結果を踏まえ、毎回、講義に工夫をして頂いていることがわかる。結果の数値だけでなく、熱心な学生への細かな聞き取り等からも講義の実態を把握していくべきであろう。人間文化学科では、既に行っていることではあるが。

<人間文化学部 メディア情報文化学科>

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：平成28年6月15日（水）～7月9日（土）

後期：平成28年11月28日（月）～平成29年1月19日（木）

【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1人当たり前期・後期のいずれも原則2科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、メディア・映像学科では前期20科目、後期15科目について調査を行った。

### 【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する8項目、学生自身の学習点検に関して前期8項目、後期7項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

### 【4】 調査結果の集計

調査結果は前・後期ともにCerezoを利用して集計を行った。

### 【5】 調査結果に対する点検

#### ◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。8項目の平均は4.30であり、総合的には授業技術と講義内容は妥当な水準となっている。総合的満足度を問う設問8は4.06であり、授業技術等に較べて多少低い値であるが妥当な水準と考えられる。ただし、教員間の差は大きく、3.76～4.77となっている。

分析結果を踏まえた改善方策：学科の授業技術について、学生は標準以上の評価をしているが、授業間で差は大きくなっている。授業技術について研修を行うなどの対策が必要と考えられる。このような対策によって総合的な満足度は更に向上すると考えられる。

#### ◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：生自身の学習点検に関する8項目の平均値は3.47で、あった。学生自身が自戒を込めて真摯に質問1から質問8よりも低めに回答した結果とも考えられる。ただし、関連学習については1.78と非常に低い数値となっており、準備学修が不十分であると考えられる。学科専門科目には実習を含む演習系の科目も多く、事前の準備の難しいものもあり、この結果からだけでは学生の意欲を読み取ることはできない。また平成27年度から始めたノートPC必携化によって、授業時間外でも学習可能な環境になったが、学生にはその自覚が余り無いと位事が伺われる。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が学習の必要性を実感し、自ら学ぶ態度を身につける必要がある。この課題を達成することは至難の業である。まずは、非常に低い数値となっている関連学習について、事前学習の方法等を具体的に指示し、実施状況を定期的に確認するなどして、学習する習慣付けを行うことから始める必要がある。

ノートPC必携化によって環境が大きく変化していることの自覚を促し、授業時間外（学内・学外含め）での学習の進め方などをアドバイスする必要性を感じた。



#### 【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員（非常勤も含む）に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。

#### 【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは Zerezo、または講義中、定期試験実施時、または関連科目の講義中に当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

#### 【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

（1）該当なし

（2）該当なし

#### 【9】 総括

授業評価アンケートでは概ね高い評価を得ており、点検を怠らず現状を継続することが望ましいといえる。ただし、評価に大きな幅があることには注意する必要がある。学生の関連学習 1.78 と低い値について、PC必携化によって時間外学習可能な環境の活用法も含め、適切に誘導する方法を検討し、改善指導することが課題だと判明した。

#### <工学部 スマートシステム学科>

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：平成28年6月15日（水）～7月9日（土）

後期：平成28年11月28日（月）～平成29年1月19日（木）

#### 【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1人当たり前期・後期のいずれも原則2科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、スマートシステム学科では前期19科目、後期17科目について調査を行った。

### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する8項目、学生自身の学習点検に関して前期8項目、後期7項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

### 【4】調査結果の集計

調査結果は前・後期ともにCerezoを利用して集計を行った。

### 【5】調査結果に対する点検

#### ◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7項目の平均は前後期合わせて4.43であり、これは工学部平均の4.31、全学平均の4.37をも上回っており、本学科教員の板書、話法、計画性等の授業技術は良好なレベルを有していると判断できる。さらに、総合的満足度を問う設問8では4.09と、全学平均を0.03ポイント下回ったものの、学部平均に対しては0.08ポイント上回り、さらに昨年より0.24ポイント上回っている。単純に比較はできないが昨年からの改善が図られたと評価できる。

分析結果を踏まえた改善方策：本学科教員の授業技術について、学生は標準以上の評価をしているが、今後も一層の改善努力を試みる予定である。

#### ◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：集計結果については、工学部平均の3.56、全学平均の3.62を超えている。また、これは昨年の2.84を大きく上回り、学生が積極的になっていると評価している。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が学修の必要性を実感し、自ら学ぶ姿勢を示していると評価する。ICTを用いた反転授業、PBLやSGD等の教育方法を取り入れつつあることも評価されていると考える。今後更に研鑽したい。

### 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。学生に対するフィードバックは各期終了までに科目ごとに行った。

### 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回までに、または定期試験実施時に当該授業科目担当教員が行った。科目によっては、講義最終回以降にCerezoを通じて再度授業アンケート

トを実施し、詳細な意見聴取をしている。その詳細を提出された報告書に記載している。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書に基づき2月20日に学科内FDとしての意見交換を行った。提案や提起された問題を以下に要約する。

##### <意見・提案>

- (1) Cerezo を用いたことで、時間が取れるためか自由記述が多くあり、学生の不安や不満の観点がよく判り、授業改善のポイントが明確となった。
- (2) 一方、Cerezo を用いたことで、回答率が50%に満たない非常に低い科目があった。教員評価にも利用されるデータであるので、有意性のばらつきが生じないようにアンケート回答期間中は、定期的によりマインダーが必要であると感じた。この事に対して、次の様な意見もあった。『回答率低下の別の要因として、分母となる「受講者数」の定義があいまいなことである。ここでの分母は初期の履修登録者数のことだと思うが、そこから履修登録を取り消した学生数が差し引かれていない。また、実際に毎回出席している学生数は、更に異なり、当該授業の場合、当初の「履修登録者数」は、128名、履修登録辞退者を除いた数は121名、毎回の出席者数は約110名である。したがって、本来であれば、回答率は $94/128=73\%$ ではなく、 $94/110=85\%$ 程度である。期間中の講義の際、毎回アナウンスしてこの程度にとどまる。ペーパーを配付して、その場で回収する場合とは異なり、Cerezo を用いる場合は、ある一定期間内に「学生の意思を尊重して」アンケートに回答してもらうわけであるので、回答率は70%もあれば十分ではないか。』

#### 【9】総括

今回のアンケート調査では、本学科における授業の実施と学成果に実態を表す結果が得られたと考えている。今後は示唆される問題点解決に向けた改善を求めたい。適切な回答率の確保は重要な課題であると認識している。

一方、昨年同様に、後期の回答率（出席率）が著しく低い。出席率の学科平均に注目すると、前期では、全学平均、学部平均を上回るのに対して、後期になると双方を下回る。ここに当該学科が学生に対して配慮すべき点が見られるとも言える。後期の学生指導（面談等）を充実させる必要がある。

#### <工学部 建築学科>

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：平成28年6月15日（水）～7月9日（土）

後期：平成28年11月28日（月）～平成29年1月19日（木）

## 【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1人当たり前期・後期のいずれも原則2科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、建築学科では前期21科目、後期22科目について調査を行った。

## 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する8項目、学生自身の学習点検に関して前期8項目、後期7項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

## 【4】調査結果の集計

調査結果は前・後期ともにCerezoを利用して集計を行った。

## 【5】調査結果に対する点検

### ◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する8項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。8項目の学科平均値は前期が4.21、後期が4.28であり、ともに学部平均値とほぼ同程度であるが、全学平均値をやや下回っている。昨年度の前期の平均値（4.15）との比較ではやや改善されている。項目別に見ると、「難易の適切性」については、前期が全学平均値をやや上回った。全学平均値より低い項目は、前期の「講義の工夫」、「質問への対応」、後期の「質問への誠意」、「講義の満足度」であった。科目別に見ると、8項目の平均値が4.0を下回る科目が、前期で3科目、後期で1科目あり、ともに技術系の科目であった。

### ◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：質問9から16までの8項目の学科平均値は、前期（3.57）、後期（3.65）は学部平均値をやや上回り、全学平均値とほぼ同程度であった。項目別に見ると、前年度低かった「授業の準備」（関連学習）（前年度前期1.67、後期1.52）が、前期2.04、後期2.04と大幅に改善し、前期の「集中力」の学科平均値が、全学平均値をやや下回った。また、前年度やや低かった「質問への積極性」（前年度前期2.97、後期3.12）については、教員側の「質問への対応」の平均値が低かったが、学生側の自己点検では前期3.10、後期3.26とやや改善し、前年度の改善策として質問の時間を設けることや、質問しやすい雰囲気をつくること等を行った成果がみられた。

分析結果を踏まえた改善方策：教員の授業評価に関する項目として、「講義の工夫」については、座学系授業において演習形式の取り入れ、具体的事例の紹介、Cerezo の活用などを検討したい。「質問への対応」については、質問しやすい雰囲気をつくること、質問コーナーの時間を設けること等を検討し、改善につなげたい。

学生の自己点検に関する項目として、他の項目と比較して相対的に低い「授業の準備」については、昨年度同様にテキストを使用しない授業科目もあり、今後は、テキストの使用、予習復習の課題の提示等や、中間テストの実施等、学生側に復習や関連学習を促すことを検討する。「質問への積極性」についても昨年度同様に、学生側の勉学意欲を高める工夫を行うとともに、質問の時間を設けることや質問しやすい雰囲気をつくること等を検討したい。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、対象科目担当教員に対して、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。学生に対するフィードバックはそれぞれの学期終了までに各授業担当教員にて行った。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回までに、当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### <意見・提案>

- (1) 積極的に取り組むような工夫（クイズ形式の出題、解き方をアプローチする出題方法など）としてCerezoを利用する。
- (2) 講義授業における「演習授業」的要素、体験学習の機会を増やす。
- (3) 学生の発表+質疑応答の時間を設け、質疑応答しやすい授業環境をつくる。
- (4) ディスカッションや演習形式の課題も取り入れ、なんらかの活動や発表を取り入れた授業を行う。
- (5) 関連学習として講義時間の最後に確認テスト実施する。
- (6) 授業の中で到達目標を明示し、授業終了時に振り返るようにする。

#### 【9】総括

前期、後期ともに昨年度と同様に、学部平均とほぼ同程度の平均値となっている。回答率（出席率）は、必修科目、選択科目による差はあるが、学科平均が前期は90%（昨年85.3%）と向上し、後期が74%（昨年87.3%）と大幅に減少している。前期後期ともに全学平均値、

学部平均値を上回った。一昨年度から欠席、遅刻の扱いについての学科統一基準をもとに出欠管理を実施しているが、前期はその成果が得られているが、後期の回答率の大幅な減少の原因については、学科内で検討したい。昨年度評価値の低かった数式や数値計算等を扱う力学系の科目の評価値が、後期については改善されている。教員の授業評価に関する8項目の平均値の低い科目（平均値4.0未満）は、前期では6科目であったが、後期では1科目となり、学科全体の平均値がほぼ同程度であることから、科目による差が少なくなり教員に対する評価値が平均化しつつあると考えられる。また、非常勤講師の評価値もほぼ学科平均値前後であった。今回の結果を踏まえ、報告書に記載されている貴重な提案を学科内で共有し、さらなる授業改善に取り組みたい。

#### <工学部 情報工学科>

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：平成28年6月15日（水）～7月9日（土）

後期：平成28年11月28日（月）～平成29年1月19日（木）

【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1人当たり前期・後期のいずれも原則2科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、情報工学科では前期15科目、後期13科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する8項目、学生自身の学習点検に関して前期8項目、後期7項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

調査結果は前・後期ともにCerezoを利用して集計を行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7項目の通年の平均は4.27であり、工学学平均の4.29より、若干下回ったが、基準値3.5を大きく上回っており、本学科教員の板書、話法、計画

性等の授業技術は十分に高いレベルを有していると判断できる。昨年度の 7 項目の通年の平均である、4.22 も上回った。また、総合的満足度を問う設問 8 では 4.0 と、工学部平均 4.14 より若干下回る。標準値 3.5 を上回るものの、授業技術等に較べて低い値であった。しかしながら、昨年の 3.85 より良くなっており、教員の改善の努力が現れている。

分析結果を踏まえた改善方策：本学科教員の授業技術について、学生は標準値以上の評価をしているが、今後も一層の改善努力を試みる予定である。なお、一部の教員の講義の満足度に、標準値 3.5 を下回る項目が見られるため、教室会議等でカリキュラムの再確認を含めて原因を究明する。

#### ◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：最初の 6 項目は、学生の授業への取り組み方の設問と授業への意欲を問う設問で構成されている。集計結果については、工学部平均の 3.56 を若干下回る 3.50 であった。しかしながら、昨年の 3.29 に対して改善している。学修の成果でも、工学部平均 3.57 に対して、学科平均は 3.50 とやや下回っている。この部分については、昨年の 3.76 と比べても下回った。

分析結果を踏まえた改善方策：特に、学生の「授業への準備」の項目が劣っている。この項目はなかなか向上していない。昨年実施した、セレッソ等を活用し、受動的な講義に留まらず、準備学修の成果を学生が発表をするようなアクティブラーニングを増やしていくことを継続することで改善したい。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

2月3日にアンケート結果を各教員に配布し、その結果に基づく報告書が2月12日頃に提出された。また、集計を元に、3月14日に学科内のFDを行い、Good Practice の情報共有を行った。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

各授業でアンケート結果の開示と、学生からの意見に対する回答が行われた。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### <意見・提案>

- (1) 知識の定着が必要。配布資料。授業の終りに配布資料に関するアンケート。つぎの週に、その点に関する小テストを実施。
- (2) ゆっくり話す。マイクは使わない。

- (3) 成績評価の内容と15回の授業計画を初回にすべて説明。毎回授業の冒頭に概要を先に言う。
- (4) 開始時間と終了時間を守っている。
- (5) 授業の中で、ビデオを使って説明。資格試験のITパスポートの中の関連する問題を解く。
- (6) 質問が出た時や、うまくいかないとき、マンツーマンで一緒に悩んだ。
- (7) かなり難しい演習問題をやらせたが、上位の学生は楽しそうにやっていた。
- (8) ついていけない学生については、個別にフォロー。授業外でも相手をする。
- (9) 学生が勉強した気にさせるのが良さそう。(適切な負荷)
- (10) 発表の練習などで事前学習が長くなっている可能性がある。
- (11) 演習問題を新しいドラクエのように、学生が興味を持ちそうな話題にからめて作成するなどした。
- (12) 一部の教科で自宅学習の負荷が重くなりすぎないようにする必要がある。一部の教科の負荷が他教科へ大きく影響する。学科内である程度の同じくらいの量の事前学習を学生にさせることの合意を得ておく必要がある。全教員が事前学習をさせていることの確認を時々取った方が良い。

## 【9】総括

今回のアンケート調査でも、昨年度に引き続き「授業の準備」の結果が大変悪かったが、事前学習を多くさせることは、教科間の影響を考えると単純にはできないことが明らかになった。今回、学科内で、学科の教員が担当する科目は、ある程度、同じくらいの量を全教科で行い、ときどき確認することで合意が得られた。これを来年度、実際に実行することの影響を次年度に見極めたい。

## <工学部機械 システム工学科>

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】実施期間 前期：平成28年6月15日(水)～7月9日(土)  
後期：平成28年11月28日(月)～平成29年1月19日(木)

## 【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員(非常勤講師を含む)当たり前期2科目、後期2科目で調査する方針に従い、機械システム工学科では前期17科目、後期15科目について調査を行った。これは、学科開講授業科目の約55.2%(32/58)に当たる。今年度から授業評価アンケートのカ



バー範囲は大きく広がった。アンケート結果データの充実につながるものと期待される。担当状況から教員によっては演習・実習科目を実施対象科目とせざるを得なかったり、前後期のアンバランスな担当状況のために、通年で4科目を実施できなかった。後期中でアンケート実施期間が変更になったことも混乱を招いた。年間計画を示した案内が必要と思われる。

### 【3】アンケート調査内容

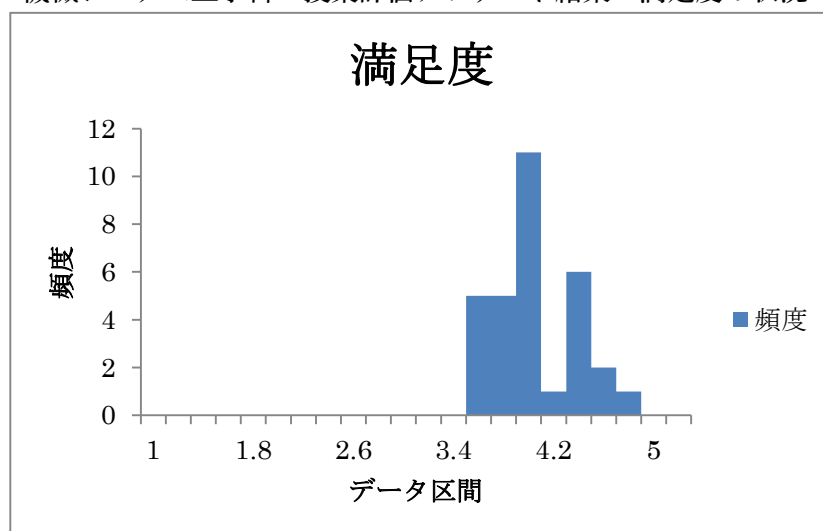
アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する8項目、学生自身の学習点検に関しては、前期8項目、後期7項目、合計、前期16項目、後期15項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢（一部6選択肢）より選択することとした。

### 【4】調査結果の集計

調査は共同利用センターICT部門の準備によりセレッソを用いて実施し、調査結果は同じく共同利用センターICT部門担当者により集計作業が行われた。集計後、各回答に係数を乗し全回答数で除すことで、5点満点で評価した。強く否定する回答にも係数1を与えているため、標準値は3.5となる。なお、調査結果は、大学教育センター教育評価改善部門から配付されたものを受理した。

### 【5】調査結果に対する点検

機械システム工学科 授業評価アンケート結果・満足度の状況



#### ◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：総合的満足度を問う設問8は、3.42～4.65まで分布している。全体的に見

て極端に不評なデータは見当たらない。教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。これらの設問1～設問7までに關して学科平均を全学平均と比較してみると、前期結果ではどれも学科平均がかなり上回る結果であったが、後期結果ではほぼ同程度になっているか、やや下回る結果である。これらに關しても全体的に見て、極端に下回る結果は見受けられないため、本学科教員の板書、話法、計画性等の授業技術はある程度の平均レベル以上に達していると考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：本学科教員の授業技術について、大半の授業で概ね平均的かやや高めの評価を受けており、ほぼ良好な状況にあると判断できる。学科授業では、全体的に理系特有の理論、数式を扱う授業が多く、恒常的に授業技術・授業手法の改善・向上に取り組む必要性が高い。一昨年度、昨年度は一部教員において授業に新しい手法を積極的に取り入れながらも評価の低いケースが発生した。これに対応して学科で当該教員をサポートし、改善方針を策定してこれに沿って授業改革に取り組んだ。今回、当該教員の評価結果は向上しており、アンケート結果を有効活用し、PDCA サイクルが機能を果たしたものと判断する。

#### ◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：学科平均を全学平均と比較すると、学科平均が全学平均を上回ったのは次である。前期結果の「出席状況」、「知識の深まり」、「受講の工夫」、「質問への積極性」、「意欲の高まり」、「学習の成果」、後期結果ではない。昨年度の結果と比べると、同傾向にあり、難易度の高い授業が後期に多い傾向がうかがえる。

分析結果を踏まえた改善方策：前期では比較的良好的な結果にあり、学生が学修の必要性を自ら理解し、学ぶ姿勢を見せているものと考えられる。学科全体としては、共通的な授業科目も含め学生が主体となり、授業に参加できるようにアクティブラーニングの導入を促進している。アクティブラーニングの比率を高めて学生の自主性、主体性を引き出すように改善を進めるようにしたい。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対して全ての集計結果を配布してフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。ただし、1件は正規手続きに沿わない結果になっている。これは、授業アンケート実施のセレッソコース設定に問題があり、また、学科教室会議で度々周知を行っていたにもかかわらず、対象科目担当教員の慎重さも欠けていたため発生したと思われる。したがって、追加にて正規期間外で授業アンケート調査を行った。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、アンケート結果取得直後の講義時、または定

期試験実施時に当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。各学科教員は、それぞれの結果を真摯に受けとめ評価している。それぞれの場合に応じて、これからの対応を検討したり、既に行っていたりしている。学生に対するフィードバックは、前記した例外の1件を除き実施されている。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### <意見・提案>

- (1) eポートフォリオを活用したLTD学習法の適用
- (2) セレソによる授業時間外の学修時間確保。また、準備した課題に取り組ませる方法
- (3) 授業支援システム”セレソ”を活用した授業時間外学修の促進。
- (4) 小テスト、ドリルによる演習機会の増加。
- (5) セレソの機能活用。
- (6) 専門学修内容の有用性の説明や理解。
- (7) 授業毎の学生の理解度の確認。
- (8) SGDにおける積極性欠如の問題。

#### 【9】総括

学科教員全員が、授業評価アンケートの結果を冷静に分析し、各自の授業の問題点と原因究明、問題解決方針の検討等に関して記述し、積極的に取り組む姿勢を示している。また、全学方針に沿い、各担当の授業でアクティブラーニング・PBL等の導入に積極的に取り組み、学生の学修成果向上のために努力している。近年は、各教員の改善努力により、このような授業のアンケート結果も向上傾向にあると思われる。各教員の取り組みや対策を共有化して活用する対応を目指したいと考える。不定期ではあるが、これまでに学科FDを開催し、有用方法の把握・理解を促進したりもしている。例として、昨年度ICT活用授業参観・報告や一昨年度ループリック作成演習等を実施した。

学科共通科目で活性化の取り組みをして授業改善を図っているため、これらの授業評価アンケートを実施し、点検する必要があると思われる。

#### <生命工学部 生物工学科>

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：平成 28 年 6 月 15 日（水）～7 月 9 日（土）  
後期：平成 28 年 11 月 28 日（月）～平成 29 年 1 月 19 日（木）

## 【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1 人当たり前期・後期のいずれも原則 2 科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、生物工学科では前期 24 科目、後期 24 科目について調査を行った。

## 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関して前期 8 項目、後期 7 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

## 【4】調査結果の集計

調査結果は前・後期ともに Cerezo を利用して集計を行った。

## 【5】調査結果に対する点検

### ◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：授業準備、話し方、計画性、授業時間、講義の工夫、質問への誠意、難易の適切性、講義の満足度の全てにおいて、学科平均がいずれも 4.00 を越えており、授業の技術においては問題ないと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：難易の適切性、講義の満足度をさらに上げるような方策を講じていきたい。

### ◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：出席状況、知識の深まりに関しては、学科平均が 4.00 以上であり、学生の授業への取り組みは良好であると考えられる。しかしながら、授業の準備、質問への積極性に関しては、学科の平均が 3.0 を下回っており、授業の予習復習や教員に対する働き掛けが乏しいと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が学習の必要性を実感し、自ら学ぶ態度を身につける必要がある。この課題を達成することは至難の業であるが、PBL や SGD 等の新しい教育方法を取り入れることも有効策の一つと考えられる。

## 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員に対して集計結果をフィードバックしている。対象科目

担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは授業の最終回または定期試験時に教員ごとに行った。その詳細は提出された報告書に記載されている。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### <意見・提案>

授業評価アンケートの内容やシステムについての意見は特になかった。

#### 【9】総括

学生の自発的な学修を促すような授業の組み立てを模索していく必要がある。このようなことを通して、講義の満足度の向上につなげていきたい。生物工学科では、カリキュラムの変更やシラバスの作成において十分に討議しているが、より実質的な議論を展開することが必要であろう。平成29年度のシラバス作成においては、学科内で徹底的な点検を実施した。

#### <生命工学部 命栄養科学科>

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：平成28年6月15日（水）～7月9日（土）

後期：平成28年11月28日（月）～平成29年1月19日（木）

#### 【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1人当たり前期・後期のいずれも原則2科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、命栄養科学科では前期10科目、後期8科目について調査を行った。

#### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する8項目、学生自身の学習点検に関して前期8項目、後期7項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯

定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

#### 【4】調査結果の集計

調査結果は前・後期ともにCerezoを利用して集計を行った。

#### 【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する8項目の多くで、学科の平均値が学部の平均値の±0.1以内におさまっていた。その中で、「進行・授業準備」と「講義の満足度」は、やや低い傾向にあった。一方で、「質問への対応」は、全学平均を前期が0.11、後期が0.04上回っていた。生命栄養科学科では、おおむね適切な授業が行われていると考えるが、改善の余地がある。個々の教員の評価に対する改善策は報告書に記載されている通りである。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：学生自身の学習点検に関する8項目は、全体に低値であり、前期は全学平均を0.19、後期も0.07下回っていた。項目別では、前後期の「出席状況」と後期の「授業の準備」を除くすべての項目で平均を下回っており、特に「質問への積極性」は前期-0.44、後期-0.57であった。「質問への積極性」は今年の調査でも課題となっていたが、今回これは改善されていない。学生の授業に対する姿勢・モチベーションの改善が課題である。

分析結果を踏まえた改善方策：授業に臨む学生の態度に積極性が不足し、学習の成果に結びつきにくい傾向が観察された。学習の動機づけが不十分であったと考えられる。後期の方が前期よりもやや高値なのは、学修への理解が少し進んだためと考えられる。学生個々の目標を明確にするために、入学時ならびに各学年の講義開始時期に、個人目標の作成・再確認を実施する。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科の各教員に対して集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

提出された報告書に記載している通り、すべての対象科目で講義最終回、または定期試験実施時に当該授業科目担当教員が学生に対するフィードバックを行った。

## 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞ 特になし

## 【9】総括

アンケート結果についても、多少のばらつきはあるものの全学の平均値のよりやや低い傾向があった。授業の進め方などに改善点が多いと考えられる。各教員の創意・工夫が必要である。

生命栄養科学科は、管理栄養士養成施設であり、国家資格を目指す学生の指導にあたっている。学生の理解レベルと国家資格試験のレベルには差があり、講義の内容・難易度の設定に苦慮している。国家資格取得を真剣に目指す学生と必ずしも目指していない学生とで目標設定が大きく異なる。両者の満足度を十分に満たす授業は難しいが、今後も学科の目標に合わせた授業を進める。

## ＜生命工学部 海洋生物科学科＞

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：平成28年6月15日（水）～7月9日（土）

後期：平成28年11月28日（月）～平成29年1月19日（木）

## 【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1人当たり前期・後期のいずれも原則2科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、海洋生物科学科では前期26科目、後期28科目について調査を行った。

## 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する8項目、学生自身の学習点検に関して前期8項目、後期7項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

## 【4】調査結果の集計

調査結果は前・後期ともにCerezoを利用して集計を行った。

## 【5】調査結果に対する点検

### ◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析： 教員の授業技術に関する 8 項目の学科平均値は、前期に実施した科目では 4.38 であり全学平均値 (4.31) 並びに学部平均値 (4.33) を上回ったが、後期に実施した科目では 4.35 と全学平均値 (4.39) 及び学部平均値 (4.38) を若干下回った。これらの項目については前後期ともに標準値 (3.5) を上回っており、本学科教員の授業技術に概ね問題はないと判断している。講義の満足度を問う設問 8 の平均値は前期科目では 4.20 であり昨年度の 3.78 をかなり上回ったとともに、全学平均値 (4.03) よりも 0.14 ポイント高い値であった。また後期科目でも 4.21 と昨年度の 4.19 を若干上回り、全学平均値 (4.20) とほぼ同等の値であった。昨年度と比べて講義の満足度に改善がみられたことについては、学科教員の授業改善の努力が反映された結果と考えている。

分析結果を踏まえた改善方策： 上に述べたように学科全体としては改善傾向が見られているが、特定の教員の担当授業において講義の満足度が他の教員の担当授業と比べて低かった。これらの教員からは教員個人の報告書において改善策がそれぞれ示されているが、学科長からも授業の内容や方法についてさらなる工夫を求めた。

### ◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析： 自己点検に関する 7 項目の学科平均値は、前期科目では 3.59 であり昨年度の 3.40 を 0.19 ポイント上回ったとともに、標準値 (3.5)、全学平均値 (3.57) 並びに学部平均値 (3.49) よりも高い値であった。一方、後期科目では 3.62 であり、やはり昨年度の 3.48 を 0.14 ポイント上回った。また、この値は全学平均値 (3.66) を若干下回っていたが標準値 (3.5) 及び学部平均値 (3.56) よりも高かった。自己点検に関する項目についても昨年度と比べて値が高くなったことは、学科教員の授業改善の努力が反映された結果と考えている。

分析結果を踏まえた改善方策： 化学 I や科学英語のように毎講義時に前回学んだ内容に関する小テストを実施した科目については「関連学習」の項目で他の科目よりも高い値が得られ、またこれらの科目はポイントが低くなりがちな基礎的科目であるにも関わらず、「知識の深まり」や「意欲の高まり」の項目で全学平均を上回る値が得られた。他の多くの科目においても、何らかの方法で授業時間外の学修を誘導することにより学修意欲や成果の改善を図ることが可能と考える。

## 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果については、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それぞれの科目について授業アンケート実施報告書の



提出を求め、提出率は100%であった。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、または定期試験実施時に当該授業科目担当教員が行い、その詳細は提出された報告書に記載されている。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### <意見・提案>

- (1) 学生への問い掛けを増やして授業内容の理解を深め、学習成果を進展させたい。
- (2) 学生の反応が良かったワークショップを今後も導入していく。
- (3) 次回の講義時までには予習しておくべき事項を具体的に示すようにしたい。
- (4) 授業の準備等について学生の自主性が低いので、学生が自ら資料を作って講義に臨むような状況を作っていくような工夫が重要である。

#### 【9】総括

本学科の授業に関するアンケート結果には昨年度と比べて改善がみられているが、今後も各授業の方法・内容に一層の改善を加えていく努力を継続したい。

### <薬学部 薬学科>

平成28年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：平成28年6月15日（水）～7月9日（土）

後期：平成28年11月28日（月）～平成29年1月19日（木）

#### 【2】対象科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）1人当たり前期・後期のいずれも原則2科目（受講者数の多い科目）のアンケートを実施する方針に従い、薬学科では前期67科目、後期76科目について調査を行った。

#### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する8項目、学生自身の学習点検に関して前期8項目、後期7項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯

定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

#### 【4】調査結果の集計

調査結果は前・後期ともにCerezoを利用して集計を行った。

#### 【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：前期授業評価では、教員の授業評価に関する8項目のうち全学平均を上回っているものは1項目（計画性）だけであった（進行：全学4.35、薬学4.20、話し方：全学4.28、薬学4.15、計画性：全学4.43、薬学4.44、授業時間：全学4.59、薬学4.58、講義の工夫：全学4.24、薬学4.07、質問への対応：全学4.37、薬学4.25、難易の適切性：全学4.13、薬学4.08、講義の満足度：全学4.06、薬学3.94）。また、後期授業評価では全学平均を上回る項目はなかった（授業準備：全学4.52、薬学4.36、話し方：全学4.38、薬学4.15、計画性：全学4.51、薬学4.51、授業時間：全学4.58、薬学4.55、講義の工夫：全学4.37、薬学4.14、質問への誠意：全学4.41、薬学4.26、難易の適切性：全学4.18、薬学4.06、講義の満足度：全学4.20、薬学3.99）。全体的にはほとんどが4点以上のため問題ないと考え、これらの情報を教員にフィードバックし、さらなる授業改善を促していく予定である。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：分析結果を踏まえた改善方策：前期授業評価では、学生の自己点検に関する8項目のうち全学平均を上回っているものは3項目であった（授業の準備：全学1.85、薬学1.86、集中力：全学3.75、薬学3.97、出席状況：全学4.52、薬学4.82、知識の深まり：全学4.07、薬学4.00、受講の工夫：全学3.59、薬学3.77、質問への積極性：全学3.12、薬学2.67、意欲の高まり：全学3.84、薬学3.84、学習の成果：全学3.94、薬学3.87）。また、後期授業評価では全学平均を上回る項目は3項目であった（関連学習：全学2.02、薬学1.70、集中力：全学3.85、薬学3.98、出席状況：全学4.44、薬学4.74、知識の深まり：全学4.12、薬学4.01、質問への積極性：全学3.26、薬学2.69、意欲の高まり：全学3.94、薬学3.84、学習の成果：全学3.66、薬学3.94）。関連学習と質問への積極性が低い傾向にある。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対してフィードバックしている。対象科目担当教員には、それをもとに授業アンケートの実施報告書の提出を求めた。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは、講義最終回、定期試験実施時、セレッソのいずれかにおいて実施した。詳細は各教員が提出した報告書に記載している。

#### 【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞ 特に意見・提案はなかった。

#### 【9】総括

薬学部では関連学習と質問への積極性が低い傾向にあるものの学習の成果は全学平均よりも高い傾向にあった。今後は前者 2 項目を高め学習の成果をさらに伸ばす努力を続ける必要がある。

#### ＜大学教育センター＞

平成 28 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本センターの授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：平成 28 年 6 月 15 日（水）～7 月 9 日（土）

後期：平成 28 年 11 月 28 日（月）～平成 29 年 1 月 19 日（木）

#### 【2】対象科目の選定

前期・後期のいずれも、本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）当たり原則として 2 科目について調査する方針に従い、大学教育センターでは前期 71 科目、後期 80 科目について、本学の学修支援システムであるセレッソを使って調査を行った。

#### 【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、前期には教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 8 項目、合計 16 項目であったが、後期には学生自身の学習点検に関する項目のうち不必要と判断された 1 項目を除いた 7 項目の、合計 15 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

#### 【4】調査結果の集計

調査結果は前・後期ともに Cerezo を利用して集計を行った。調査結果は情報管理者 1 名

によって集計された。集計後、各回答に係数を乗し全回答数で除すことで、5点満点で評価した。強く否定する回答にも係数1を与えているため、標準値は3.5となる。なお、調査結果は、大学教育センター教育開発部門から、大学教育センター長経由で配付されたものを受理した。

#### 【5】調査結果に対する点検

##### ◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：上述したとおり、今年度は前期と後期で質問項目数が異なることから、以下、前期と後期に適宜分けて記述する。教員の授業評価に関する8項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。8項目の前期の通年の平均は4.31であり、後期の平均は4.34であり、通年での平均値4.325は昨年度の通年の数値4.32に比べて0.05ポイント上昇し、本センター教員の板書、話法、計画性等の授業技術は十分に高いレベルを有していると判断できる。とくに授業時間の確保については前期4.54、後期4.52と高く、授業の計画性についても前期4.43、後期4.48と、きわめて高い評価を得たことから、真摯な態度で授業に取り組んでいることが窺える。また、総合的満足度を問う設問8でも、前期4.08、後期4.12で、通年の平均値は4.10と、4ポイントを超えた。この値は一昨年度の3.85、昨年度の3.94に比べて上昇しており、総じて担当教員による授業改善の努力を認めることができる。

分析結果を踏まえた改善方策：授業技術と講義内容に関する項目は前後期ともすべて4ポイントを超えているが、その中で授業難易度の適切性に関して、前期4.01、後期4.10と、ごくわずかながら低い。この項目についても一昨年度の値3.77や昨年度の値3.94より上昇しているものの、全学の平均値である前期4.13、後期4.18をいずれも下回った。この回答結果からだけでは、学生が共通教育科目の講義内容が容易過ぎると感じているのか、あるいは難し過ぎると感じているのかを特定することはできない。専門科目と教養教育科目という言葉の響きからだけでも、前者のほうが難しく、後者は簡単と直感的に思われているのかも知れないし、きわめて多岐にわたる内容の共通教育に関しては、本学学生の学修習熟度および当該科目に関するレディネスなどが必ずしも十分でないことも考えられる。次の項目で言及する授業のための準備学習や関連の学習に関する値が低いことと併せて考える必要があるように思われる。いずれにせよ、日々の教授の過程で学生の習熟度により注意を払い、的確に把握しながら、より適切な授業方法が検討されるなど、改善の余地が大いにある。

##### ◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：集計結果については、全学の平均値である前期3.57、後期3.66に対して、本センター関係の授業はいずれも僅かながら下回り、前期3.54、後期3.64であった。とくに授業に先立つ準備学習や関連する学習を行ったか否かについての【質問9】への回答の値

が、前期 1.66、後期 1.96 と、昨年の 1.57 に比べれば若干上昇したとはいえ、それぞれ全学平均を 0.19、0.06 下回る自己評価を下しているのが目立つ。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が学習の必要性を実感し、前向きに学ぶ態度を身につけさせることが緊急に必要である。授業以外の学修時間が不可欠な状況を作り出すことに最大の努力を傾注することが当面の課題である。この課題を達成することは至難の業であるが、学生が単に授業時間に教室で受け身的に授業を聴くのではなく、事前・事後に課題を与え、その点検を小テスト、リフレクション・ペーパーなどを用い、授業時間中に確実にを行うなどの工夫を要する。

#### 【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、非常勤講師を含む大学教育センター関係教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックした。非常勤講師の場合、大学のメールシステムへのアクセスが常勤者のように容易ではないことや、インターネットを使用しない非常勤講師も含まれることから、集計結果を適時、適切に各人の手元に届けること自体に大変な労力を要する。しかし、最終的には全ての教員に、全学の傾向と対比しうるデータも含めて、各自の授業評価の結果を周知することができた。

#### 【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、または定期試験実施時に当該授業科目担当教員が行うこととした。しかし、これについても非常勤講師に関しては連絡などに手間取ることもあり、授業や定期試験実施の期間内に学生へのフィードバックができなかった者も生じたようであり、その場合には、セレッソ上に掲載することで学生へのフィードバックを行うことを要請した。この結果に基づき、対象科目担当教員には授業アンケート実施報告書の提出を求めた。専任教員については全員から報告書が提出されたが、非常勤講師については、授業がすでに終了していて連絡がつけにくいケースもあったが、最終的に全ての大学教育センター関係の共通教育担当教員からフィードバック報告書が提出された。昨年、一部の非常勤講師からはフィードバック報告書の提出がなかった状況は改善された。

#### 【8】大学教育センター教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（PDF ファイル添付）より、主として授業改善に関わる有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

##### <意見・提案>

- (1) 学生の興味を引き易い題材を精選し、講義内容を修正する。身近な小道具を用いた説明、演示実験等を取り入れた視覚的な授業展開をさらに拡充させていく。
- (2) 今以上に講義内容を増やすのは得策でないと考えてはいるが、一部のより高い知識レ

ベルを要求する学生についても、別途、方策を検討していく。

- (3) 各年次においてキャリアポートフォリオの作成に取り組み、学修内容を記録し、発展的に活用することで、キャリア観を深められるようなプログラムへと進化させる。
- (4) 授業の目標を伝え、学生にとって学びや達成を感じられるような、授業展開を行うように取り組んで行く。
- (5) このような授業評価アンケートの結果をよりよい授業作りのため、よりよい学修環境の整備のために行うのであれば、学期の途中で行うのではなく、学期終了時に行うべきである。それにより、教員は本当の意味で自分の授業を振り返ることができ、結果として授業改善に資する授業評価アンケートになるのではなかろうか。
- (6) 学生が授業での英語環境に入る前に、言語的なねらい (language target) にもっと馴染めるように、私は課外の課題を出し続けたい。また、授業フィードバックの書式 (授業ごとに集めて点検) を変えることで、学生が授業直後のフィードバックを書き込めるスペースを増やすことにする。
- (7) 英語力の向上はインプットだけでは難しく、アウトプット活動を通して初めて可能である。・・・(中略)・・・授業内容に関して、ペアあるいはグループでインタビューをさせるなど、アウトプット活動を毎授業に効果的に含めてみたい。
- (8) 机間巡視を積極的に行い、学生の理解度を頻繁にはかるとともに、質問しやすい雰囲気作りを心がける。
- (9) 単に理論としてではなく、自らの経験に照らして考えることができるような指導の仕方を考える必要を感じている。
- (10) 質問の返答など、学生とのコミュニケーションの機会をさらに活用して、学生の本音を聞き、授業の改善につなげたい。
- (11) 学生に見合った難易度の授業を行うことで、学生の学修成果に対する満足度の底上げをする。
- (12) 毎時間小テストを実施し、授業内の活動の復習を促すことで、家庭での学習に取り組むように指導してはいたが、それを実行する学生としない学生の差はあるように思えた。全ての学生が取り組むよう、モチベーションを上げていきたい。
- (13) 毎授業の後、授業に関連する発問を行い、次の授業までに各自で調べてくる、という課題を与えることで、必然的に関連学習の時間は向上し、意欲も高まるのではないかと思う。
- (14) 予習・復習が必要な授業デザイン、レポート課題などを取り入れる方策が考えられる。だが、実施者が非常勤講師ということもあり、レポート課題の書き方の相談に乗れないというデメリットもあるため、予習／復習を評価に反映させる方法が有り得るだろう。
- (15) アクティブ・ラーニングに向かない科目であることも明確なので、現段階では「課題の与え方の工夫」「ソクラテス・メソッド (対話型授業) の強化」を考えている。

- (16) 質問しやすい環境づくりは講義シートが有効である（質問する学生への満足度もシートにあると考えられる）。
- (17) 毎回の講義の最初に、前回の内容のテスト（簡単な選択式のクイズ等）を行うことで予習復習を促し、より一層の知識や意欲の高まりを感じてもらえるようにできればと考えています。

## 【9】総括

全学共通教育を担当する大学教育センターは、専任教員の他、多数の非常勤講師による授業を提供しており、授業評価アンケートの実施にはとくに後者との連絡調整、フィードバック結果の回収など負担が少なくない。にもかかわらず、今回のアンケート調査では、非常勤を含む対象となった全教員について授業評価を実施することができ、授業の実施と学修成果の実態を表す一定の結果が得られた。各教員はそれぞれ担当科目の授業に真剣に取り組んでおり、数値に表れた結果から見れば、昨年度よりも状況は明らかに好転していることが読み取れる。しかしながら、授業に対する全般的な満足度、授業の難易度に改善すべき点が依然として相対的に存在することが判明した。また、調査自体の実施やフィードバックにおいて、より手間暇がかかるとはいえ、教員の間には、評価対象科目を原則2科目に絞るよりも、全ての科目について実施すべきであるとの声も聞かれる。一昨年までのように紙媒体によるアンケートに変えて、学修管理システム（セレッソ）の活用が十分に可能であることが証明された現在、今回のように選定した科目に限った調査から、回答した学生が特定しうるごく少人数の授業を除き、全面的な実態把握に取り組むべきであろう。そうした全面的の授業評価により、全学共通教育の質保証と改善に取り組んでいきたい。